
令和2年（2020年）

広島市消防局火災統計

広島市消防局予防部予防課

令和2年（2020年）広島市消防局火災統計

目 次

1 火災の現況と最近の動向	1
(1) 令和2年の火災概要	1
(2) 火災の推移と傾向	2
(3) 行政区・受託市町別火災発生状況	2
(4) 行政区・受託市町別出火原因	2
(5) 行政区・受託市町別被害状況	2
2 出火状況	7
(1) 火災件数の構成比率	7
(2) 月別火災発生状況	8
(3) 四季別火災発生状況	8
(4) 1日当たりの火災状況	9
(5) 時間帯別火災発生状況	9
(6) 曜日別火災発生状況	10
(7) 行政区・受託市町別出火率	10
(8) 火災覚知方法別件数	11
(9) 初期消火方法別件数	11
(10) 防火対象物区分別件数	12
3 火災による死者の状況	13
(1) 火災による死者の状況	13
(2) 月別発生状況	14
(3) 死因別発生状況	15
(4) 年齢階層別発生状況	15
(5) 出火原因別発生状況	16
(6) 住宅火災による発生状況	17
4 火災による負傷者の状況	18
(1) 火災による負傷者の状況	18
(2) 月別発生状況	19
(3) 負傷原因別発生状況	20
(4) 負傷程度別負傷者発生状況	20
5 出火原因	21
(1) 出火原因別発生状況	21
(2) 行政区・受託市町別出火原因件数	23
(3) 「たばこ」による火災の推移と傾向	24
(4) 「こんろ」による火災の推移と傾向	25

(5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向	26
(6) 「たき火」による火災の推移と傾向	28
6 建物火災の主な出火原因	29
(1) 建物火災の主な出火原因	29
(2) 「こんろ」による火災の発生状況	30
(3) 「たばこ」による火災の発生状況	31
(4) 「ストーブ」による火災の発生状況	32
(5) 「電気機器」による火災の発生状況	33
7 林野火災の主な出火原因	34
8 車両火災の主な出火原因	35
9 その他の火災の主な出火原因	36
10 住宅用火災警報器と住宅火災	37
(1) 住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移	37
(2) 住警器と死傷者	38
(3) 住警器と火災概況	40
(4) 住警器奏功事例	41
11 別表	42

付属資料 昭和23年以降の火災発生状況

1 火災の現況と最近の動向

(1) 令和2年の火災概要

令和2年中の広島市消防局管内の火災件数は229件で、前年に比べて48件減少している。

火災種別では、「建物火災」145件（うち「住宅火災」91件）、「林野火災」5件、「車両火災」16件、「その他の火災」が63件となっている。

出火原因別にみると、「たばこ」による火災が38件、「こんろ」による火災が30件、「放火（疑いを含む）」による火災が28件、「たき火」による火災が22件となっている。

火災による被害状況をみると、建物焼損面積3,727㎡、林野焼損面積11a、損害額2億7,003万5千円、死者5人、負傷者51人となっている（第1-1表）。

第1-1表 令和2年の火災概要

区分	令和2年			令和元年			増減				
	管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町		
火災発生状況（件）	総数	229	214	15	277	255	22	▲48	▲41	▲7	
	建物火災	145	135	10	168	156	12	▲23	▲21	▲2	
	住宅火災	91	86	5	95	88	7	▲4	▲2	▲2	
	林野火災	5	5	0	3	3	0	2	2	0	
	車両火災	自動車	16	14	2	25	22	3	▲9	▲8	▲1
		鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の火災	63	60	3	81	74	7	▲18	▲14	▲4		
出火原因（件）	たばこ	38	37	1	42	41	1	▲4	▲4	0	
	こんろ	30	28	2	28	27	1	2	1	1	
	放火（疑いを含む）	28	26	2	32	29	3	▲4	▲3	▲1	
	たき火	22	21	1	25	20	5	▲3	1	▲4	
	電灯・電話等の配線	9	7	2	17	15	2	▲8	▲8	0	
	上記以外	102	95	7	133	123	10	▲31	▲28	▲3	
被害状況	焼損面積	建物（㎡）	3,727	2,811	916	3,690	3,139	551	37	▲328	365
		林野（a）	11	11	0	56	56	0	▲45	▲45	0
	損害額（千円）	270,035	216,427	53,608	361,434	315,792	45,642	▲91,399	▲99,365	7,966	
	焼損棟数（棟）	188	172	16	233	214	19	▲45	▲42	▲3	
	り災世帯（世帯）	150	143	7	172	163	9	▲22	▲20	▲2	
	り災人員（人）	313	294	19	360	342	18	▲47	▲48	1	
	死者（人）	5	4	1	9	9	0	▲4	▲5	1	
負傷者（人）	51	44	7	40	39	1	11	5	6		

- （備考）
- 1 各年の数値は、1月～12月に発生した火災を集計したもの。
 - 2 「建物火災」とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
 - 3 「住宅火災」とは、専用住宅、併用住宅及び共同住宅における火災をいう。
 - 4 「車両火災」とは、自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
 - 5 「林野火災」とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
 - 6 「船舶火災」とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
 - 7 「その他の火災」とは、建物火災、車両火災、林野火災及び航空機火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積所、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。
 - 8 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。
 - 9 ▲は負数を表す。

(2) 火災の推移と傾向

過去10年間(平成23年～令和2年)の火災件数をみると、479件であった平成23年以降、おおむね減少傾向となっている。令和2年中の火災件数(229件)は、この10年で最も多かった平成23年中の火災件数(479件)の47.8%となっている。

また、建物焼損床面積は、平成28年まで減少傾向となっているが、それ以降は4,000㎡前後でほぼ横ばいとなっている。

過去10年間の火災件数を主な火災種別ごとにみると、全ての火災種別で、おおむね減少傾向となっており、特に「建物火災」と「その他の火災」が顕著に減少している。

火災による損害額は、平成25年と平成30年を除きおおむね減少傾向となっている。

火災による死者は、平成26年の30人、平成27年の20人を除き10人前後であり、ほぼ横ばいとなっている(第1-1図)。

(3) 行政区・受託市町別火災発生状況

令和2年中の火災件数について、行政区別に発生状況をみると、「安佐北区」が43件で最も多く、次いで、「安佐南区」が35件となっている。また、「南区」及び「西区」が前年に比べ11件減少している。

受託市町では、「海田町」が6件で最も多く、次いで、「熊野町」が5件となっている(第1-2表)。

(4) 行政区・受託市町別出火原因

令和2年中の火災件数について、行政区別に火災原因をみると、出火原因の多くが減少傾向にある中、「こんろ」による火災が2件増加しており、中でも「中区」及び「西区」がそれぞれ3件増加している。

また、「たばこ」による火災件数は、「中区」が3件増加する一方、「西区」では4件減少している(第1-3表)。

(5) 行政区・受託市町別被害状況

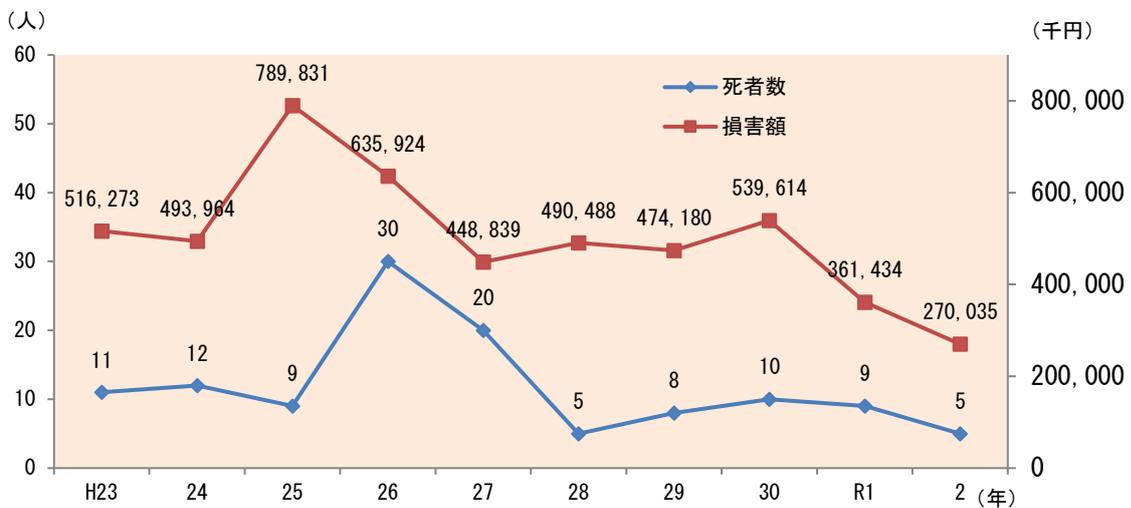
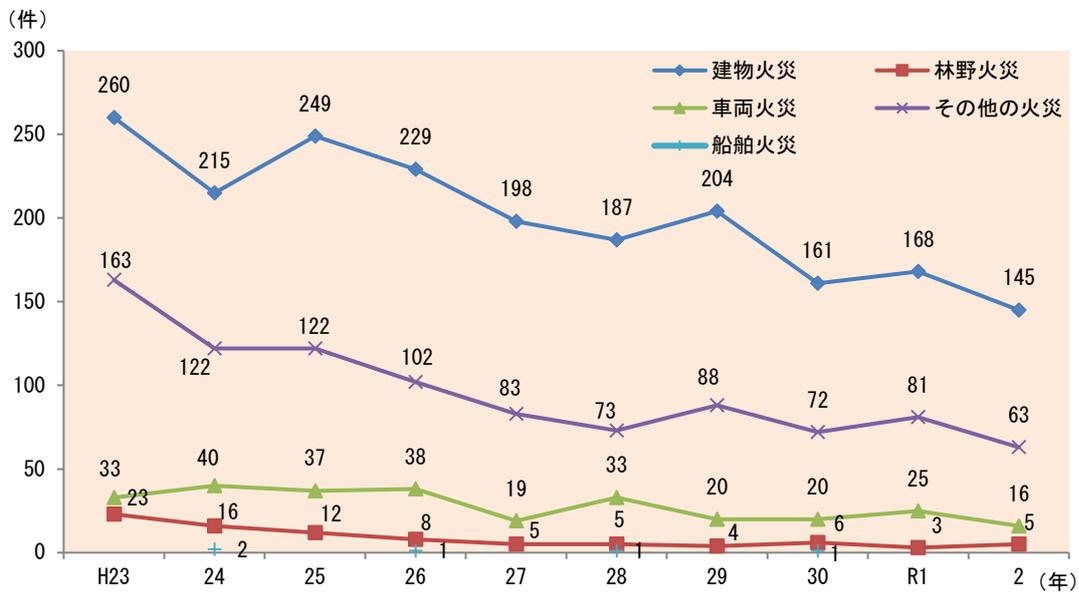
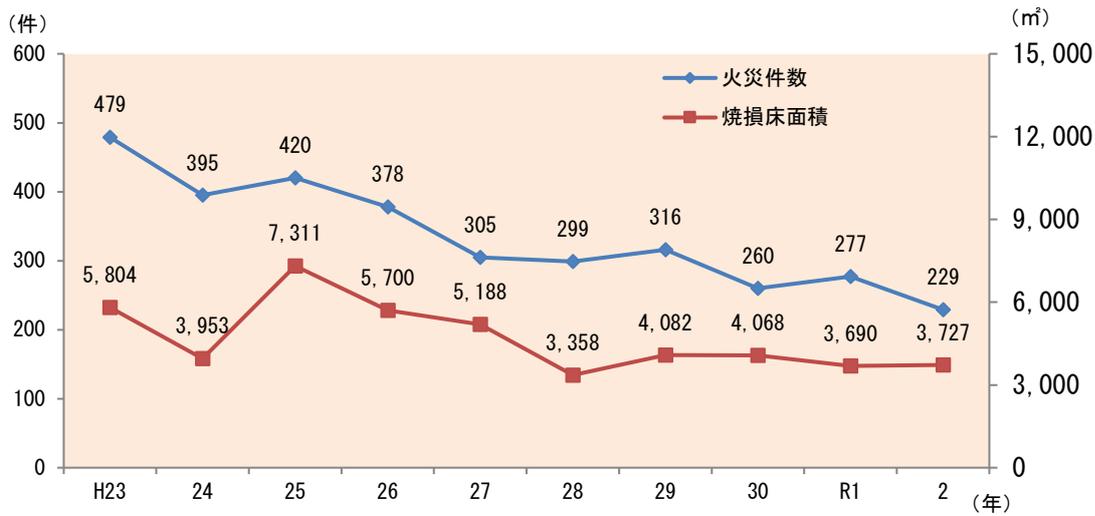
令和2年中の火災件数について、行政区別に被害状況をみると、損害額は、「安佐北区」が5,264万6千円で最も多く、次いで、「南区」が4,806万1千円となっている。焼損床面積は、「安佐北区」が1,137㎡で最も多くなっている。

受託市町をみると、損害額、焼損床面積ともに「安芸太田町」が最も多くなっている。

損害額を前年と比べると、行政区別では、「南区」が最も増加し、「東区」が最も減少しており、受託市町では、「安芸太田町」が最も増加し、「熊野町」が最も減少している。

また、火災による死者は、行政区別では、「南区」で2人、「中区」及び「安佐北区」でそれぞれ1人発生しており、受託市町では、「海田町」で1人発生している(第1-4表)。

第1-1図 火災の推移と傾向



(備考) 「火災件数」及び「死者数」は左軸を、「焼損床面積」及び「損害額」は右軸を参照。

第1-2表 行政区・受託市町別火災発生状況

(件)

区分	総計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災		
	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	
広島市	中区	34	40	27	32	0	0	1	1	0	0	6	7
	増減数	▲6		▲5		0		0		0		▲1	
	東区	13	13	8	10	0	0	2	2	0	0	3	1
	増減数	0		▲2		0		0		0		2	
	南区	21	32	15	20	0	0	3	1	0	0	3	11
	増減数	▲11		▲5		0		2		0		▲8	
	西区	31	42	21	25	0	0	1	7	0	0	9	10
	増減数	▲11		▲4		0		▲6		0		▲1	
	安佐南区	35	39	25	25	1	2	1	2	0	0	8	10
	増減数	▲4		0		▲1		▲1		0		▲2	
	安佐北区	43	45	17	19	4	1	3	3	0	0	19	22
増減数	▲2		▲2		3		0		0		▲3		
安芸区	13	16	7	10	0	0	0	0	0	0	6	6	
増減数	▲3		▲3		0		0		0		0		
佐伯区	24	28	15	15	0	0	3	6	0	0	6	7	
増減数	▲4		0		0		▲3		0		▲1		
計	214	255	135	156	5	3	14	22	0	0	60	74	
増減数	▲41		▲21		2		▲8		0		▲14		
受託市町	海田町	6	6	4	3	0	0	0	2	0	0	2	1
	増減数	0		1		0		▲2		0		1	
	坂町	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	増減数	▲1		0		0		0		0		▲1	
	熊野町	5	12	3	6	0	0	1	1	0	0	1	5
	増減数	▲7		▲3		0		0		0		▲4	
	安芸太田町	3	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
増減数	2		1		0		1		0		0		
廿日市市吉和	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
増減数	▲1		▲1		0		0		0		0		
計	15	22	10	12	0	0	2	3	0	0	3	7	
増減数	▲7		▲2		0		▲1		0		▲4		
総計	229	277	145	168	5	3	16	25	0	0	63	81	
増減数	▲48		▲23		2		▲9		0		▲18		

第1-3表 行政区・受託市町別出火原因

(件)

区分	総計		たばこ		こんろ		放火(疑いを含む)		たき火		電灯・電話等の配線		左記以外		
	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	
広島市	中区	34	40	8	5	10	7	5	9	0	0	1	6	10	13
	増減数	▲6		3		3		▲4		0		▲5		▲3	
	東区	13	13	2	2	3	2	1	2	0	0	0	1	7	6
	増減数	0		0		1		▲1		0		▲1		1	
	南区	21	32	3	3	2	6	5	5	0	0	1	4	10	14
	増減数	▲11		0		▲4		0		0		▲3		▲4	
	西区	31	42	11	15	6	3	4	5	0	0	0	3	10	16
	増減数	▲11		▲4		3		▲1		0		▲3		▲6	
	安佐南区	35	39	6	7	4	5	2	5	4	2	3	0	16	20
	増減数	▲4		▲1		▲1		▲3		2		3		▲4	
	安佐北区	43	45	2	2	1	3	4	2	11	13	2	1	23	24
増減数	▲2		0		▲2		2		▲2		1		▲1		
安芸区	13	16	2	3	0	0	2	1	4	2	0	0	5	10	
増減数	▲3		▲1		0		1		2		0		▲5		
佐伯区	24	28	3	4	2	1	3	0	2	3	0	0	14	20	
増減数	▲4		▲1		1		3		▲1		0		▲6		
計	214	255	37	41	28	27	26	29	21	20	7	15	95	123	
増減数	▲41		▲4		1		▲3		1		▲8		▲28		
受託市町	海田町	6	6	1	1	1	0	1	2	1	0	1	0	1	3
	増減数	0		0		1		▲1		1		1		▲2	
	坂町	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	増減数	▲1		0		0		0		▲1		0		0	
	熊野町	5	12	0	0	1	1	1	0	0	4	1	2	2	5
	増減数	▲7		0		0		1		▲4		▲1		▲3	
	安芸太田町	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0
増減数	2		0		0		▲1		0		0		3		
廿日市市吉和	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
増減数	▲1		0		0		0		0		0		▲1		
計	15	22	1	1	2	1	2	3	1	5	2	2	7	10	
増減数	▲7		0		1		▲1		▲4		0		▲3		
総計	229	277	38	42	30	28	28	32	22	25	9	17	102	133	
増減数	▲48		▲4		2		▲4		▲3		▲8		▲31		

第1-4表 行政区・受託市町別被害状況

区分	損害額 (千円)		焼損床面積 (㎡)		焼損表面積 (㎡)		林野焼損面積 (a)		死者 (人)		負傷者 (人)		
	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	
広島市	中区	35,362	27,869	159	188	104	54	0	0	1	2	6	7
	増減数	7,493		▲29		50		0		▲1		▲1	
	東区	352	88,785	0	589	8	249	0	0	0	1	0	1
	増減数	▲88,433		▲589		▲241		0		▲1		▲1	
	南区	48,061	18,399	430	264	185	67	0	0	2	0	8	6
	増減数	29,662		166		118		0		2		2	
	西区	7,528	20,292	31	226	22	149	0	0	0	2	7	4
	増減数	▲12,764		▲195		▲127		0		▲2		3	
	安佐南区	39,538	75,397	514	690	45	87	3	39	0	1	8	6
	増減数	▲35,859		▲176		▲42		▲36		▲1		2	
	安佐北区	52,646	53,500	1,137	677	51	298	8	14	1	2	3	12
	増減数	▲854		460		▲247		▲6		▲1		▲9	
安芸区	12,938	6,835	161	208	59	8	0	3	0	0	8	1	
増減数	6,103		▲47		51		▲3		0		7		
佐伯区	20,002	24,715	379	297	50	34	0	0	0	1	4	2	
増減数	▲4,713		82		16		0		▲1		2		
計	216,427	315,792	2,811	3,139	524	946	11	56	4	9	44	39	
増減数	▲99,365		▲328		▲422		▲45		▲5		5		
受託市町	海田町	2,630	3,470	19	138	2	14	0	0	1	0	1	0
	増減数	▲840		▲119		▲12		0		1		1	
	坂町	15	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	15		0		20		0		0		0	
	熊野町	13,878	34,179	107	337	28	71	0	0	0	0	1	1
	増減数	▲20,301		▲230		▲43		0		0		0	
	安芸太田町	37,085	0	790	0	22	0	0	0	0	0	5	0
増減数	37,085		790		22		0		0		5		
廿日市市吉和	0	7,993	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	
増減数	▲7,993		▲76		0		0		0		0		
計	53,608	45,642	916	551	72	85	0	0	1	0	7	1	
増減数	7,966		365		▲13		0		1		6		
総計	270,035	361,434	3,727	3,690	596	1031	11	56	5	9	51	40	
増減数	▲91,399		37		▲435		▲45		▲4		11		

2 出火状況

(1) 火災件数の構成比率

令和2年中の火災件数について、その構成比をみると、建物火災が全火災の63.3%で最も高い比率を占めている（第2-1表）。

建物火災のうち住宅火災件数を行政区・受託市町別にみると、「安佐北区」が4件増加する一方、「東区」では4件減少している（第2-2表）。

第2-1表 火災件数の構成比率

火災種別	令和2年		令和元年	
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）
建物火災	145(91)	63.3	168(95)	60.6
林野火災	5	2.2	3	1.1
車両火災	16	7.0	25	9.0
船舶火災	0	0.0	0	0.0
その他の火災	63	27.5	81	29.2
総計	229	100.0	277	100.0

- （備考） 1 （ ）内は住宅火災件数で、内数である。
2 総計欄の値が四捨五入により各値の総計と一致しない場合がある。

第2-2表 行政区・受託市町別の住宅火災件数

（件）

区分		令和2年	令和元年	増減数
広島市	中区	15	13	2
	東区	5	9	▲4
	南区	8	11	▲3
	西区	13	14	▲1
	安佐南区	17	16	1
	安佐北区	15	11	4
	安芸区	4	5	▲1
	佐伯区	9	9	0
広島市 計		86	88	▲2
受託市町	安芸郡海田町	1	3	▲2
	安芸郡坂町	0	0	0
	安芸郡熊野町	2	3	▲1
	安芸太田町	2	0	2
	廿日市市吉和	0	1	▲1
受託市町 計		5	7	▲2
総計		91	95	▲4

(2) 月別火災発生状況

令和2年中の月別火災発生状況をみると、ひと月当たりの平均は約19.1件で、「4月」が32件で最も多く、次いで、「3月」が26件となっている。

損害額を月別にみると、「12月」が最も多く、「8月」が最も少ない（第2-1図）。

第2-1図 月別火災発生状況



(3) 四季別火災発生状況

令和2年中の四季別火災発生状況をみると、「春季（3月～5月）」が77件（構成比33.6%）で最も多く、「夏季（6月～8月）」が42件（構成比18.3%）で最も少ない（第2-3表）。

第2-3表 四季別火災発生状況

区分	令和2年				令和元年			
	火災件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)	構成比 (%)	火災件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)	構成比 (%)
春季 (3月～5月)	77	33.6	66,910	24.8	71	25.6	119,994	33.2
夏季 (6月～8月)	42	18.3	8,149	3.0	64	23.1	44,066	12.2
秋季 (9月～11月)	58	25.3	85,242	31.6	70	25.3	93,415	25.8
冬季 (12月～2月)	52	22.7	109,689	40.6	72	26.0	103,959	28.8
総計	229	100.0	270,035	100.0	277	100.0	361,434	100.0

(4) 1日当たりの火災状況

令和2年中の火災件数（229件）を1日当たりに換算すると、火災件数は0.6件で、建物焼損面積は10.2㎡となっている。（第2-4表）。

第2-4表 1日当たりの火災状況

区分		令和2年			令和元年		
		管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町
火災件数（件）		0.6	0.6	0.0	0.8	0.7	0.1
焼損面積	建物（㎡）	10.2	7.7	2.5	10.1	8.6	1.5
	林野（a）	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0
損害額（千円）		737.8	591.3	146.5	990.2	865.2	125.0
焼損棟数（棟）		0.5	0.5	0.0	0.6	0.6	0.1
り災世帯（世帯）		0.4	0.4	0.0	0.5	0.4	0.0
り災人員（人）		0.9	0.8	0.1	1.0	0.9	0.0
死者（人）		0.01	0.01	0.00	0.02	0.02	0.00
負傷者（人）		0.14	0.12	0.02	0.11	0.11	0.01

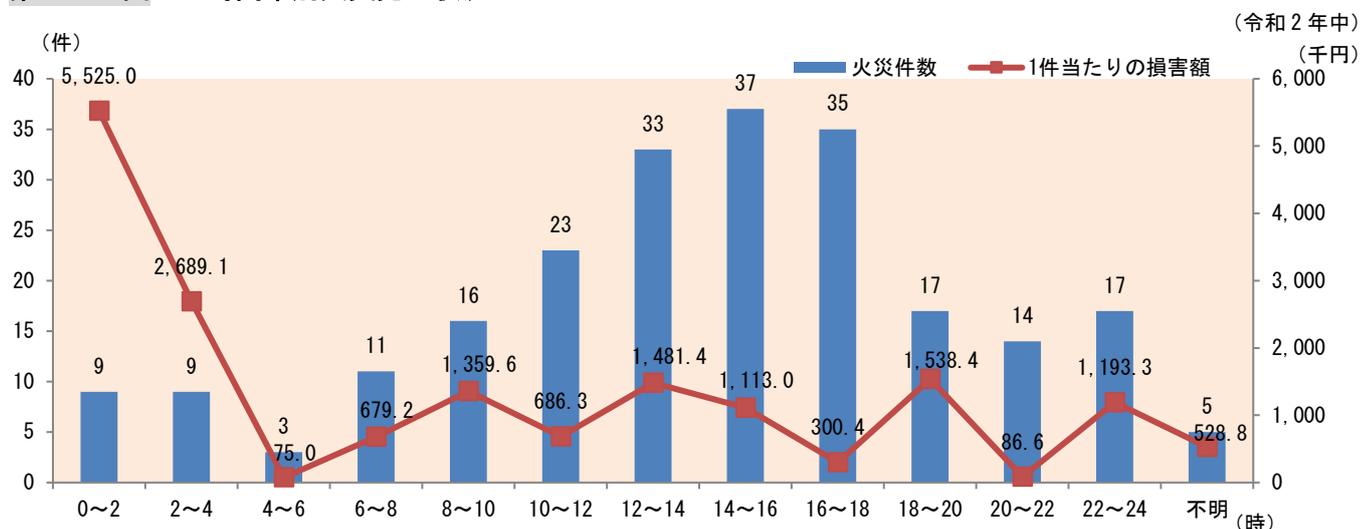
（備考） 小数点第2位を四捨五入（死者及び負傷者の項目は小数点第3位を四捨五入）。

(5) 時間帯別火災発生状況

令和2年中の時間帯別火災発生状況をみると、「14時から16時」が37件で最も多く、「4時から6時」が3件で最も少ない。

1件当たりの損害額をみると、「0時から2時」が他を大きく引き離して最も多く、次いで「2時から4時」が多くなっている。その他の時間帯については、100万円前後となっている（第2-2図）。

第2-2図 時間帯別火災発生状況



（備考） 1 【例】時間帯の「0～2」は、出火時刻が0時00分～1時59分までの間であることを示す。

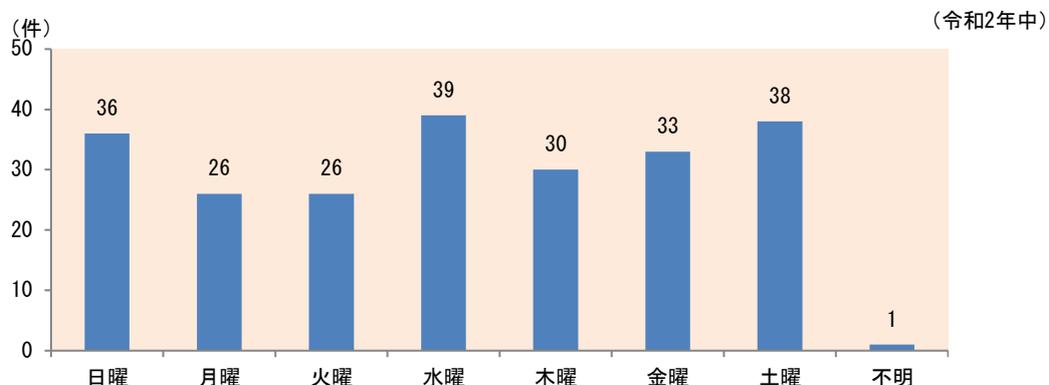
2 1件当たりの損害額については、小数点第2位を四捨五入。

3 「火災件数」は左軸を、「1件当たりの損害額」は右軸を参照。

(6) 曜日別火災発生状況

令和2年中の曜日別火災発生状況を見ると、「水曜」が39件で最も多く、次いで「土曜」が38件となっており、「月曜」及び「火曜」が26件で最も少ない（第2-3図）。

第2-3図 曜日別火災発生状況



(7) 行政区・受託市町別出火率

令和2年中の出火率は、1.8件/万人で、広島市では1.8件/万人、受託市町では2.0件/万人となっている。

行政区別にみると、「安佐北区」が3.0件/万人で最も高く、「東区」が1.1件/万人で最も低く、受託市町別にみると、「安芸太田町」が4.9件/万人で最も高い（第2-5表）。

第2-5表 行政区・受託市町別出火率

(令和2年中)

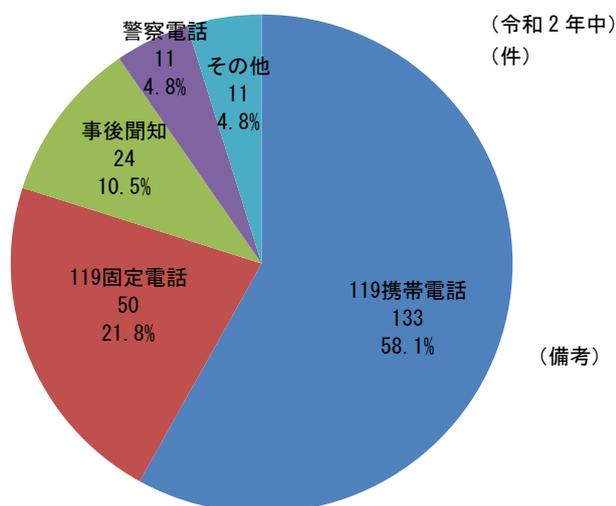
区分		出火率 (件/万人)	火災件数 (件)	建物火災 (件)	人口 (人)
広島市	中区	2.5	34	27	135,069
	東区	1.1	13	8	120,337
	南区	1.5	21	15	142,812
	西区	1.6	31	21	189,038
	安佐南区	1.4	35	25	244,240
	安佐北区	3.0	43	17	143,405
	安芸区	1.6	13	7	79,317
	佐伯区	1.7	24	15	140,112
広島市 計		1.8	214	135	1,194,330
受託市町	海田町	2.0	6	4	30,097
	坂町	0.8	1	1	12,877
	熊野町	2.1	5	3	23,838
	安芸太田町	4.9	3	2	6,085
	廿日市市吉和	0.0	0	0	619
受託市町 計		2.0	15	10	73,516
総計		1.8	229	145	1,267,846

- (備考) 1 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。
2 人口は、令和2年3月末現在の住民基本台帳による。

(8) 火災覚知方法別件数

令和2年中の火災覚知方法をみると、「携帯電話による119番通報」が58.1%と約6割を占めており、次いで、「固定電話による119番通報」が21.8%となっている（第2-4図）。

第2-4図 火災覚知方法別件数



- (備考)
- 「事後聞知」とは、消防機関が「このような火災があった」等、鎮火後に通報を受けた場合をいう。
 - 「警察電話」とは、広島県警察本部と広島市消防局間に設置されている専用の電話回線をいう。
 - 「その他」とは、消防職員が発見したもの及び消防署への加入通報や駆けつけ等により覚知したもの等をいう。

(9) 初期消火方法別件数

令和2年中の初期消火方法をみると、「水道等の水をかけた」が85件で最も多く、次いで、「粉末消火器」が61件となっている。一方で、初期消火を行わなかったものは、65件となっている。

令和2年中の火災のうち、初期消火に成功したのは105件となっており、初期消火の成功率は45.9%となっている（第2-6表）。

第2-6表 初期消火方法別件数及び成功率 (令和2年中)

区分	成功 (件)	失敗 (件)	総計 (件)	成功率 (%)
水道等の水をかけた	53	32	85	62.4
粉末消火器	39	22	61	63.9
寝具、衣類等をかけた	7	2	9	77.8
もみ消した	3	1	4	75.0
その他	3	2	5	60.0
初期消火なし			65	
総計	105	59	229	45.9

- (備考)
- 「成功率」は、成功件数に総数を除すことで算出したもの。
 - 「その他」とは、「動力消防ポンプ設備」及び「強化液消火器」等を使用したものをいう。

(10) 防火対象物区分別件数

令和2年中の防火対象物区分別件数をみると、「(5) 項口」が45件で、全体の約半数を占めており、次いで、「(16) 項イ」が17件となっている（第2-7表）。

また、各区分の防火対象物100件当たりの火災件数をみると、「(2) 項イ」が33.3件で最も多く、次いで、「(3) 項イ」が11.1件となっている。消防用設備等点検結果報告書の報告率との関連性をみると、「(2) 項イ」は0%で、「(3) 項イ」が33.3%となっており、火災件数と消防用設備等点検結果報告書の報告率は反比例している（第2-5図）。

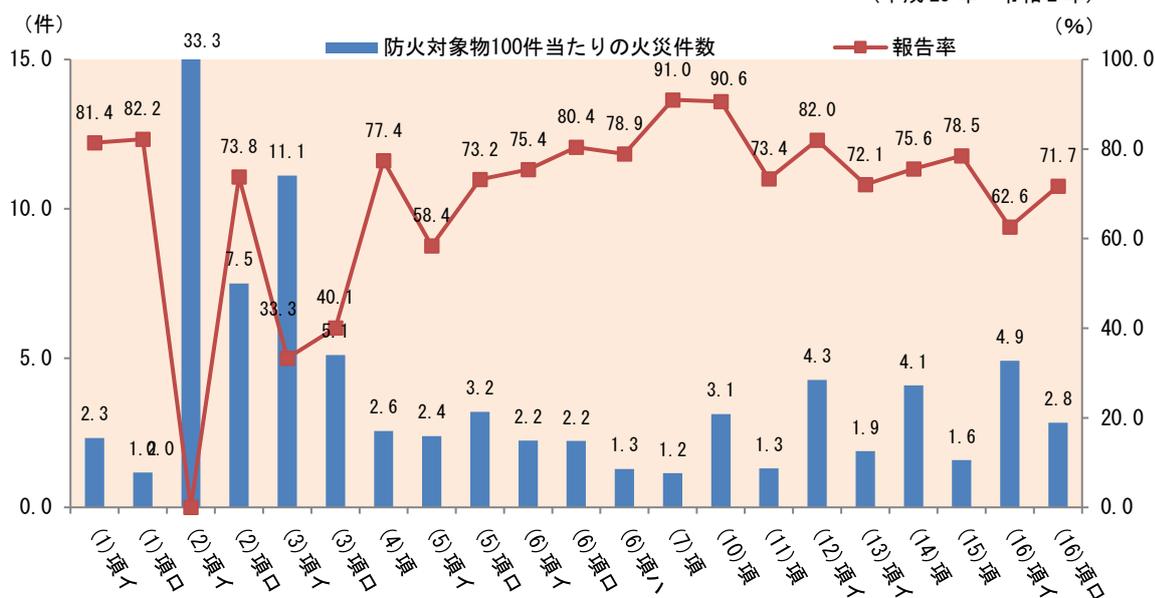
第2-7表 防火対象物区分別件数

(令和2年中)

区分名	火災件数（件）	焼損床面積（㎡）	損害額（千円）
(3) 項口	1	0	565
(4) 項	3	0	1,302
(5) 項口	45	171	27,587
(6) 項イ	2	0	408
(12) 項イ	8	29	11,654
(13) 項イ	1	0	16
(14) 項	5	69	870
(15) 項	4	3	118
(16) 項イ	17	86	15,496
(16) 項口	10	86	6,240
総計	96	444	64,256

第2-5図 火災件数と消防用設備等点検結果報告率の関連性

(平成23年～令和2年)



(備考) 1 「防火対象物100件当たりの火災件数」は、各区分の火災件数を各区分防火対象物件数（消防用設備等の点検報告義務があるもの）で除したものに100を乗じて算出。

2 「報告率」とは、消防用設備等点検結果報告書の報告率のことをいう。

3 火災による死者の状況

(1) 火災による死者の状況

令和2年中の火災による死者は5人で、前年に比べて4人減少している。

死者5人のうち、放火自殺者を除いた住宅火災による死者は3人で、このうち1人が65歳以上の高齢者となっている（第3-1表）。

過去10年間の死者数をみると、平成26年及び平成27年を除き、10人前後で推移している（第3-1図）。

火災100件当たりの死者数をみると、火災件数が減少傾向にあるのみ対し、死者数は平成26年及び平成27年を除き3人前後であり、ほぼ横ばいとなっている（第3-2図）。

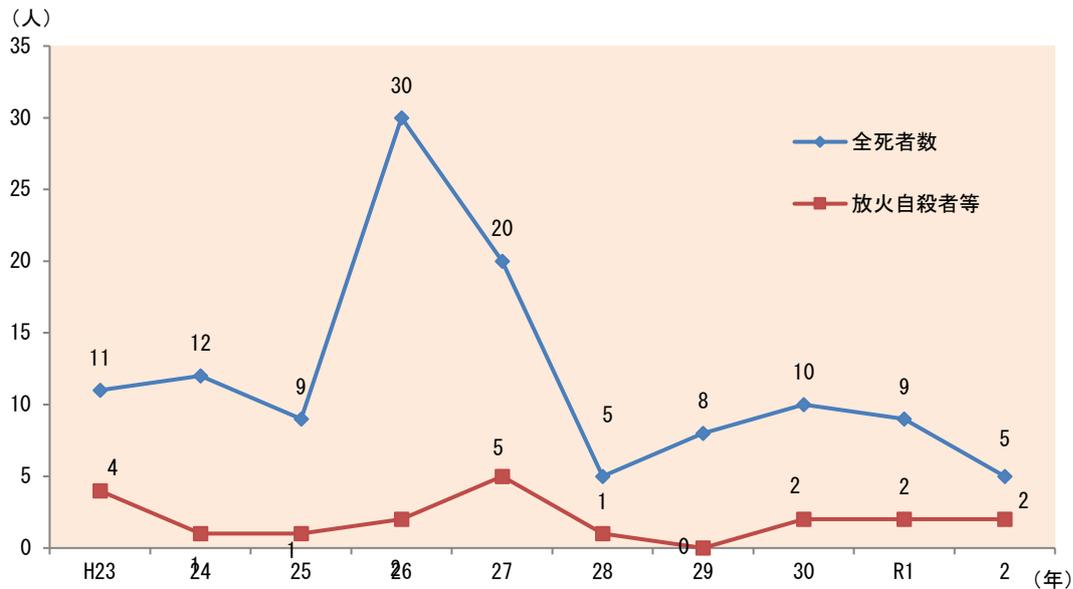
第3-1表 火災による死者発生状況

(人)

区分	65歳未満		65歳以上		総計		前年比
	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	
建物火災	3(1)	3(1)	1	4	4(1)	7(1)	▲3(0)
住宅火災	3(1)	2	1	3	4(1)	5	▲1(1)
車両火災	0	1(1)	0	0	0	1(1)	▲1(▲1)
その他の火災	1(1)	0	0	1	1(1)	1	0(1)
総計	4(2)	4(2)	1	5	5(2)	9(2)	▲4(0)

(備考) () は放火自殺者数で、内数である。

第3-1図 火災による死者数の推移



(備考) 放火自殺者等とは、放火自殺者、放火自殺の巻き添えとなった者及び放火殺人による死者をいう。

第3-2図 火災100件当たりの死者数の推移



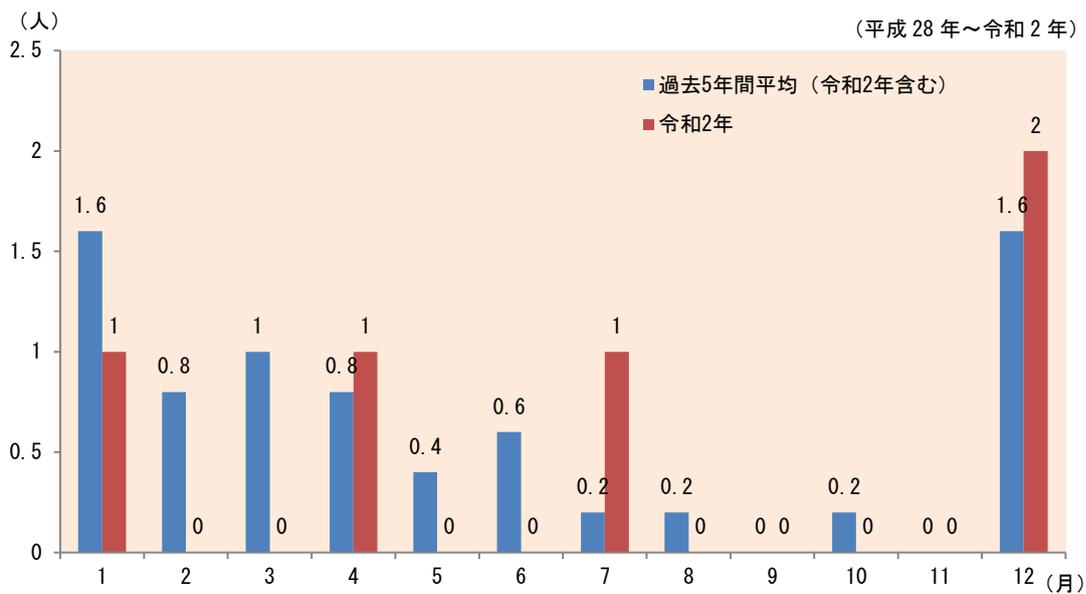
(備考) 「火災100件当たりの死者数」は左軸を、「火災件数」は右軸を参照。

(2) 月別発生状況

令和2年中の火災による死者(5人)を月別にみると、過半数である3人が冬季(12月から2月)に発生している。

また、過去5年間(平成28年~令和2年)の平均死者発生状況をみると、「12月」及び「1月」に最も多く発生している(第3-3図)。

第3-3図 月別死者発生状況



(3) 死因別発生状況

過去5年間の火災による死者（37人）を死因別にみると、「一酸化炭素中毒死」が14人で最も多く、次いで、「火傷死」及び「焼死」が8人となっている（第3-2表）。

第3-2表 火災による死因別死者発生状況 (人)

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	過去5年間計
一酸化炭素中毒死	1	4	4	3	2	14
火傷死	1	2	3	2	0	8
焼死	2	2	1	2	1	8
自殺	1	0	2	2	2	7
総計	5	8	10	9	5	37

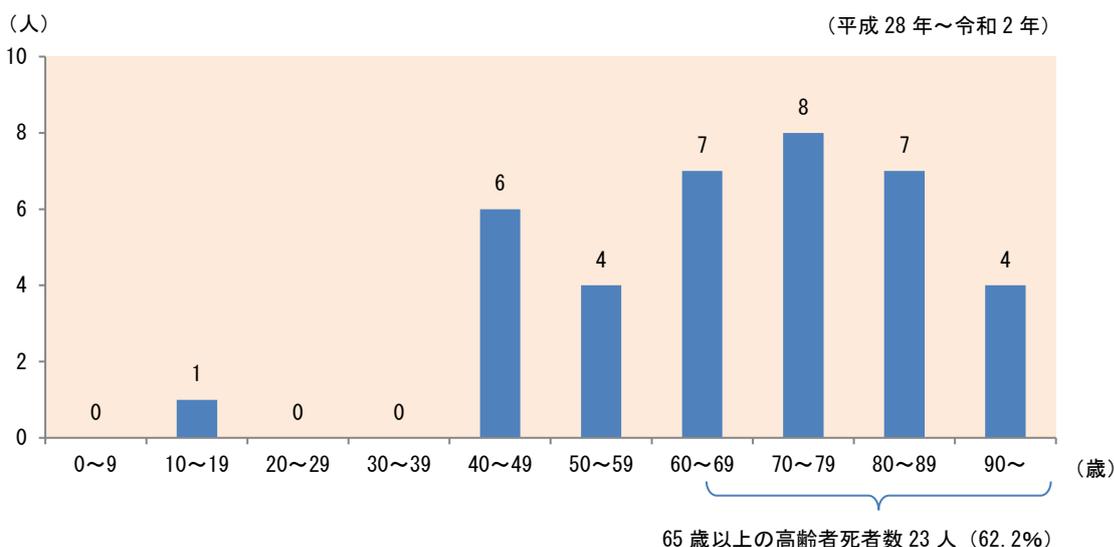
(備考) 1 「火傷死」とは、煙(CO)による影響が少なく、火傷(火、熱)により死亡したもの。
2 「焼死」とは、煙が作用したことにより、火傷を受け死亡したもの。

(4) 年齢階層別発生状況

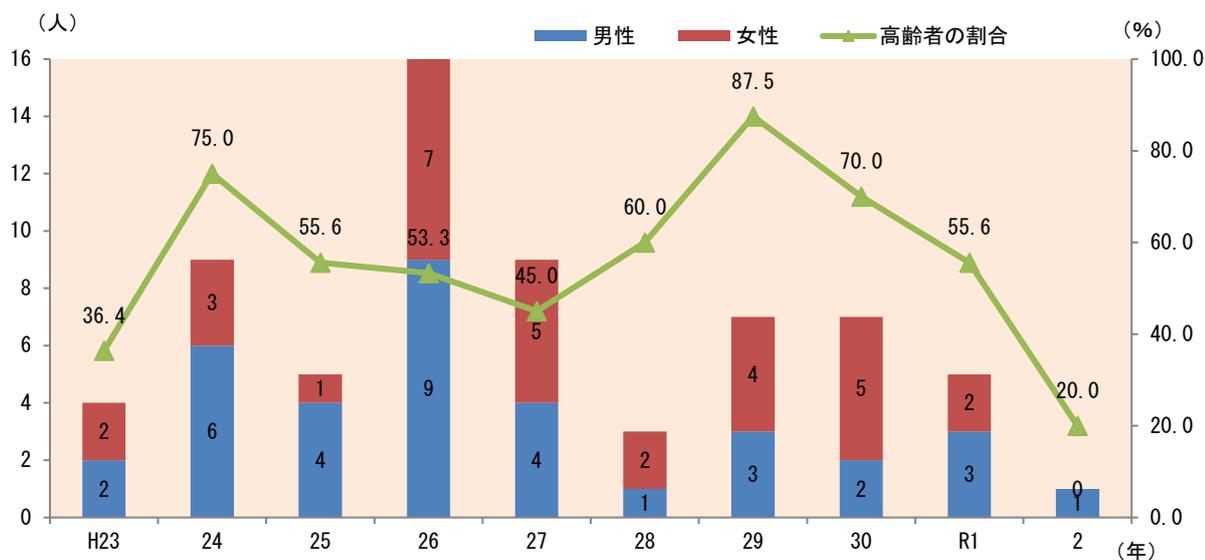
過去5年間の火災による死者（37人）を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が23人で62.2%を占めている（第3-4図）。

過去10年間の高齢者の割合の推移をみると、87.5%であった平成29年以降、右肩下がりとなっている。また、男女比では、年によって違いはあるものの、全体数でみると、男性35人、女性31人であり、顕著な傾向は見られない（第3-5図）。

第3-4図 火災による年齢階層別死者発生状況



第3-5図 男女別死者発生状況及び高齢者の割合



(備考) 「男性」及び「女性」は左軸を、「高齢者の割合」は右軸を参照。

(5) 出火原因別発生状況

過去5年間の火災による死者(37人)を出火原因別にみると、「放火(疑いを含む)」が8件で最も多く、次いで、「たばこ」が6件、「ストーブ」が5件となっている(第3-3表)。

第3-3表 出火原因別死者発生状況

(件)

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	過去5年間計
放火(疑いを含む)	2	0	2	2	2	8
たばこ	1	1	2	2	0	6
ストーブ	0	4	1	0	0	5
マッチ・ライター	0	0	1	2	0	3
こんろ	0	1	0	0	0	1
風呂かまど	0	0	1	0	0	1
排気管	1	0	0	0	0	1
たき火	0	0	0	1	0	1
灯火	0	0	1	0	0	1
電灯・電話等の配線	0	1	0	0	0	1
火入れ	0	0	1	0	0	1
不明・調査中	1	1	1	2	3	8
総計	5	8	10	9	5	37

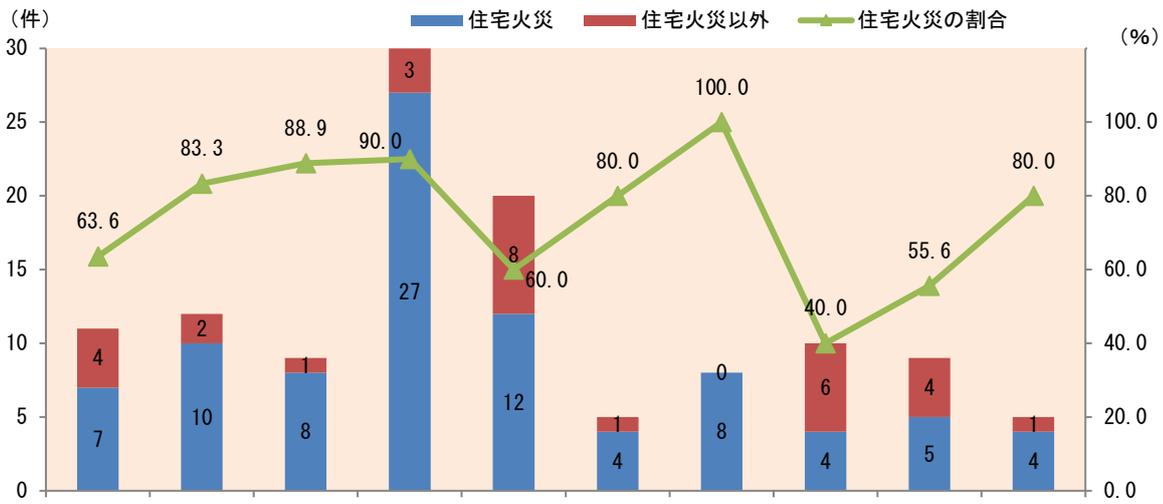
(備考) 「放火(疑いを含む)」には、放火自殺者を含む。

(6) 住宅火災による発生状況

過去10年間の火災による死者（119人）のうち、「住宅火災」によるものは89人となっており、住宅火災の割合をみると、平成30年には4割まで減少しているが、それ以降増加傾向となっている（第3-6図）。

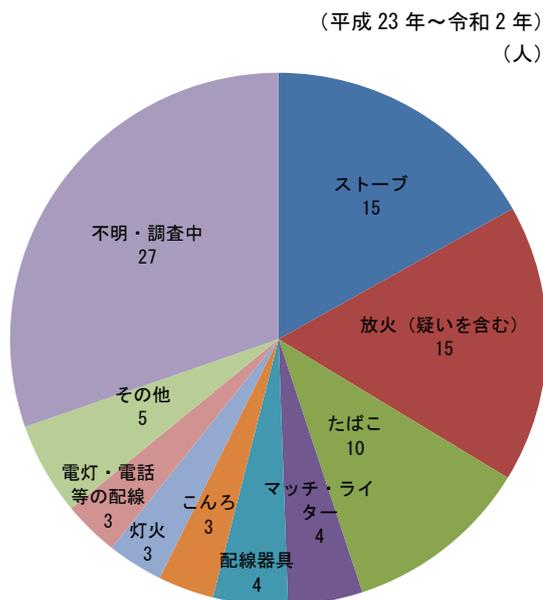
過去10年間の住宅火災による死者（89人）を出火原因別にみると、「ストーブ」及び「放火（疑いを含む）」による死者がそれぞれ15人で最も多い。また、一人暮らしの割合をみると、約4割が一人暮らしとなっている（第3-7・8図）。

第3-6図 住宅火災における出火原因別死者発生状況

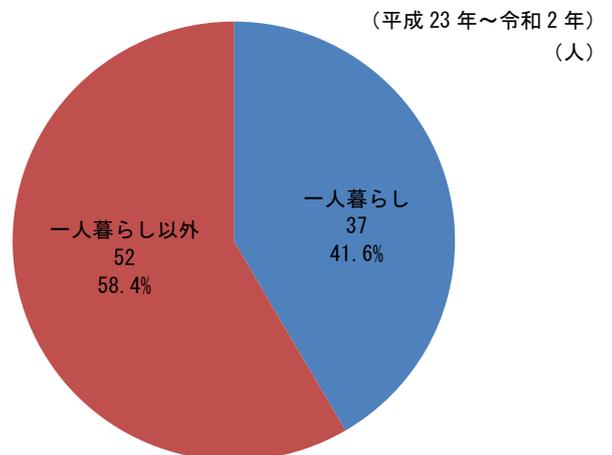


(備考) 「住宅火災」及び「住宅火災以外」は左軸を、「住宅火災の割合」は右軸を参照。

第3-7図 住宅火災における出火原因別死者発生状況



第3-8図 住宅火災死者における一人暮らしの割合



(備考) 1 「放火(疑いを含む)」には、放火自殺者を含む。
2 「その他」とは、こたつ、たき火及び風呂かまど等をいう。

4 火災による負傷者の状況

(1) 火災による負傷者の状況

令和2年の負傷者は51人で、前年の40人に比べて11人増加している。

火災種別をみると「建物火災」による負傷者が46人で最も多く、全体の約9割を占めている。

また、令和2年中の負傷者（51人）のうち、65歳以上の高齢者は19人であり、全体の37.3%となっている（第4-1表）。

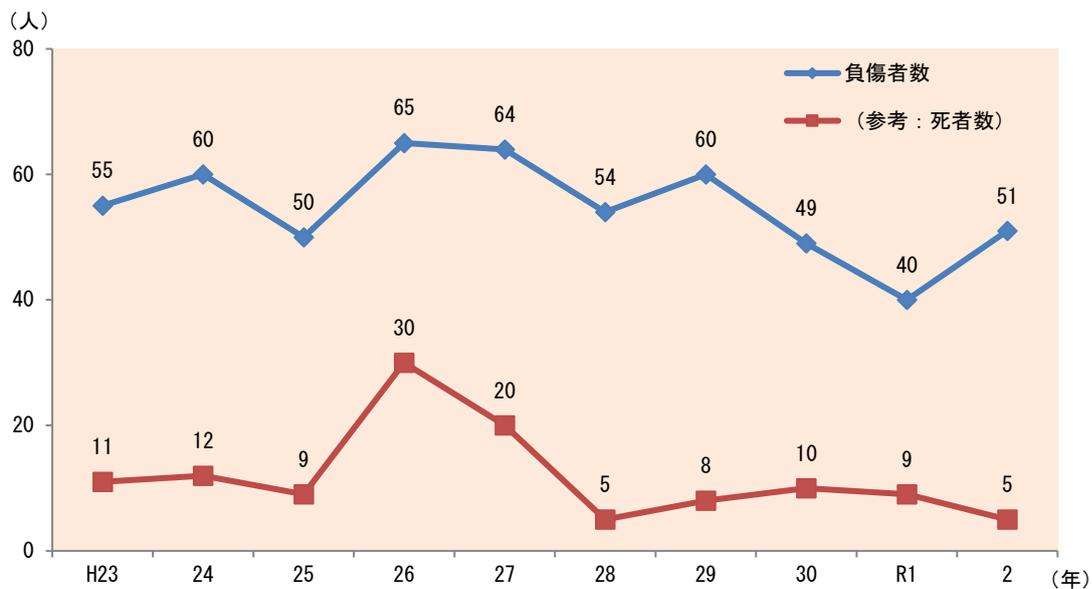
過去10年間の負傷者数をみると、年によって増減を繰り返しており、顕著な傾向は認められないが、火災100件当たりの負傷者数は増加傾向にあり、平成23年が11.5人であるのに対し、令和2年は22.3人となっている（第4-1・2図）。

第4-1表 火災による負傷者発生状況

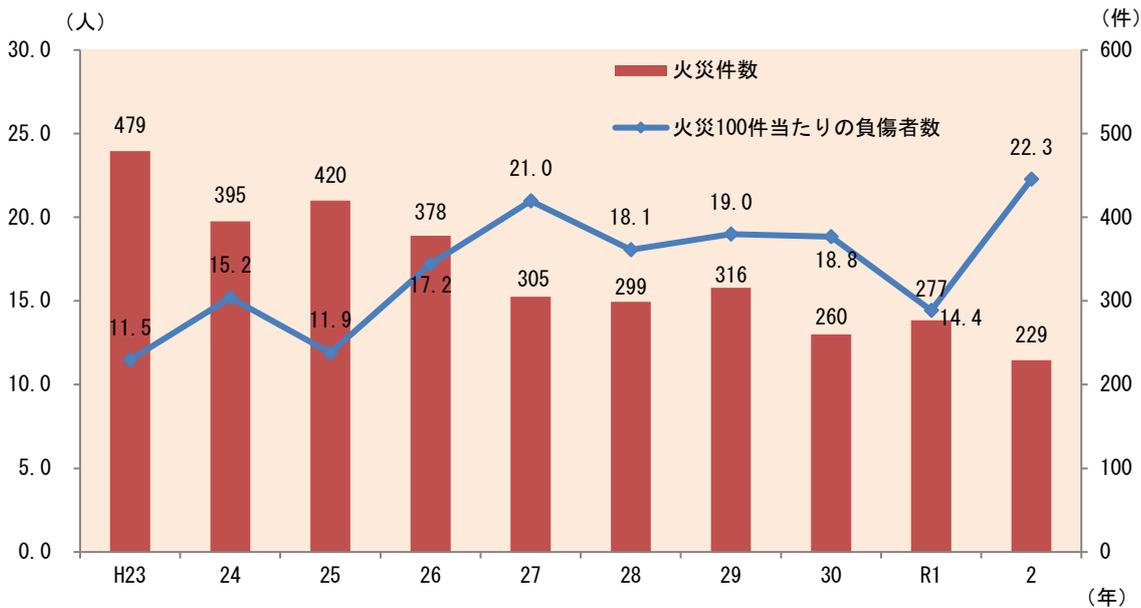
(人)

区分	65歳未満		65歳以上		総計		増減数
	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	
建物火災	31	24	15	15	46	39	7
林野火災	0	0	2	0	2	0	2
車両火災	0	0	1	0	1	0	1
その他の火災	1	0	1	1	2	1	1
総計	32	24	19	16	51	40	11

第4-1図 火災による負傷者数の推移



第4-2図 火災100件当たりの負傷者数の推移



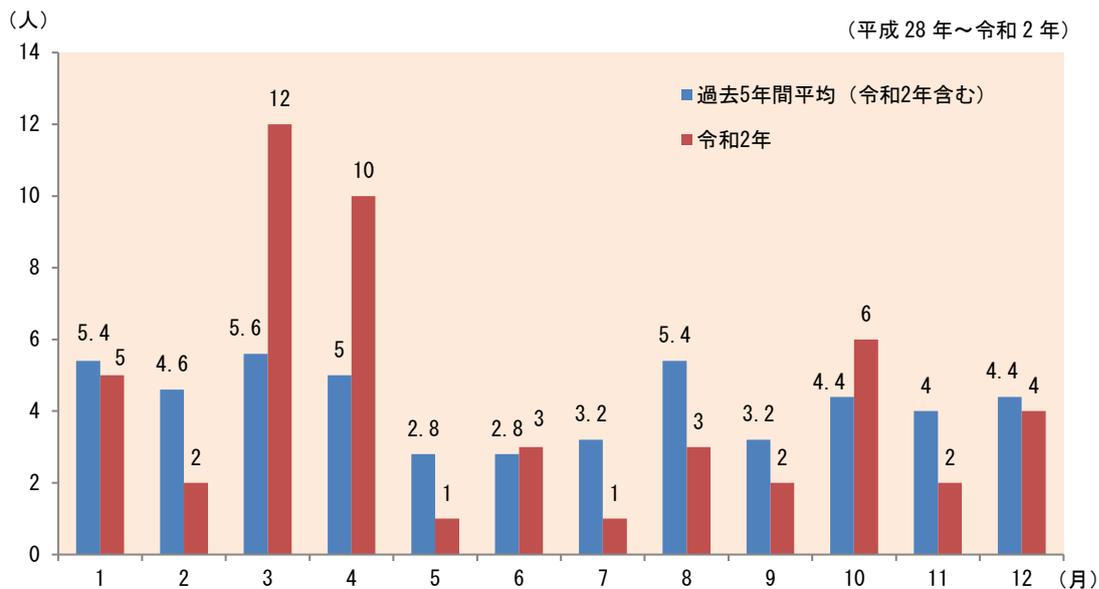
(備考) 「火災100件当たりの負傷者数」は左軸を、「火災件数」は右軸を参照。

(2) 月別発生状況

令和2年中の火災による負傷者(51人)を月別にみると、「3月」が12人と最も多く、次いで、「4月」が10件となっている。

また、過去5年間の平均負傷者発生状況をみると、各季節に偏りがなく、顕著な傾向は認められない(第4-3図)。

第4-3図 火災による月別負傷者数



(3) 負傷原因別発生状況

令和2年中の火災による負傷者（51人）を負傷原因別にみると、「火傷・熱傷」が26人で最も多く、次いで、「気道炎」が12人となっている。

また、行動別にみると、「避難中」が24人で最も多く、次いで、「消火中」が17人となっている（第4-2表）。

第4-2表 負傷原因別・行動別負傷者発生状況

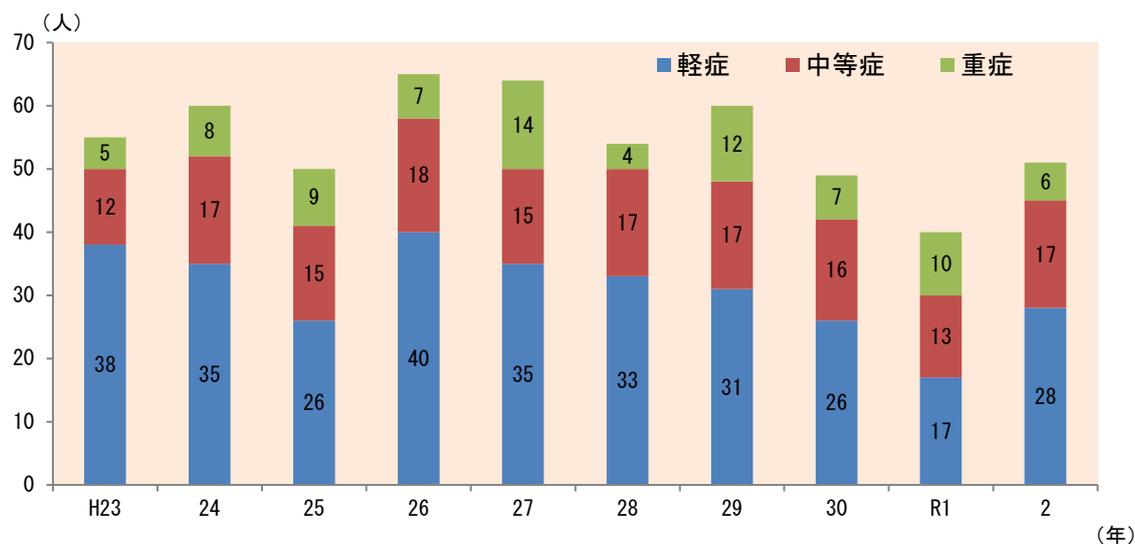
(令和2年中)
(人)

行動区分 負傷原因	避難中	消火中	作業中	就寝中	その他	総計
火傷・熱傷	11	10	2	0	3	26
気道炎	7	5	0	0	0	12
一酸化炭素中毒	2	0	0	0	1	3
打撲	1	0	2	0	0	3
骨折	0	1	0	0	0	1
擦過傷	0	1	0	0	0	1
その他	3	0	0	1	1	5
総計	24	17	4	1	5	51

(4) 負傷程度別負傷者発生状況

過去10年間の負傷者（548人）を負傷程度別にみると、「軽症」が最も多く、約6割を占めている。「重症」の割合は、令和元年が最も高く、4人に1人（25%）が重症となっている（第4-4図）。

第4-4図 負傷程度別負傷者発生状況



- (備考)
- 1 「重症」とは、3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
 - 2 「中等症」とは、重症又は軽症以外のものをいう。
 - 3 「軽症」とは、入院加療を必要としないものをいう。

5 出火原因

(1) 出火原因別発生状況

令和2年中の火災（229件）を出火原因別にみると、「たばこ」による火災が38件、次いで、「こんろ」による火災が30件、「放火（疑いを含む）」による火災が28件となっている

（第5-1表）。

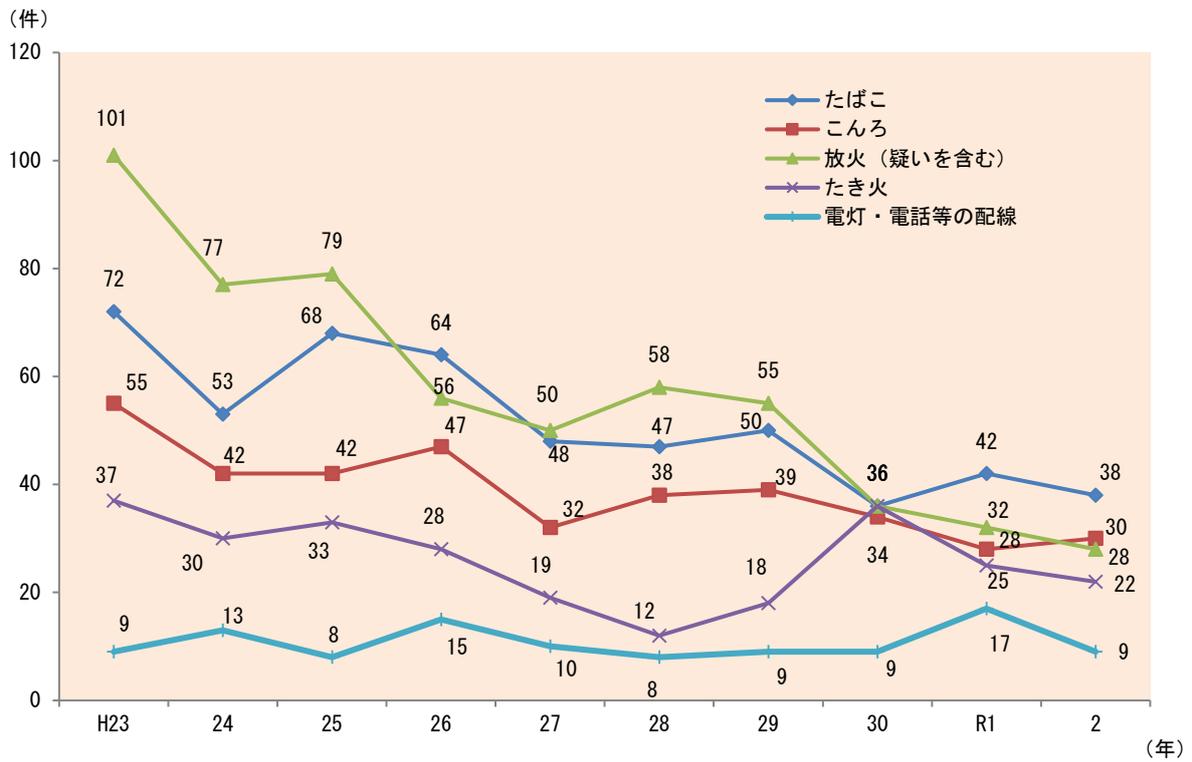
また、過去10年間の火災件数の推移をみると、「放火（疑いを含む）」及び「たばこ」が顕著な減少傾向である一方、「たき火」及び「電灯・電話等の配線」はほぼ横ばいとなっている（第5-1図）。

月別火災件数をみると、「放火（疑いを含む）」は夏季（6月～8月）に著しく少なく、季節差が生じているのに対し、「電灯・電話等の配線」は季節に偏りが少ない（第5-2図）。

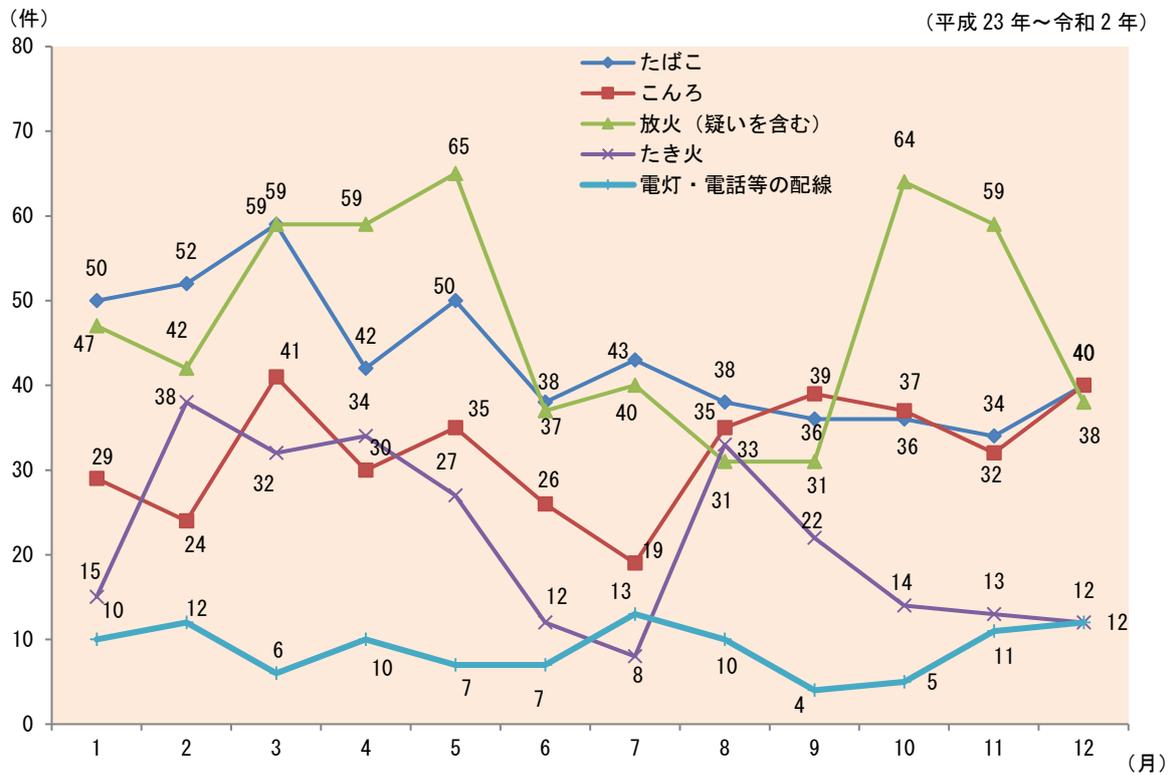
第5-1表 主な出火原因別の火災件数

	件数（件）	構成比（％）	前年比（件）	増減率（％）
たばこ	38	16.6	▲4	▲9.5
こんろ	30	13.1	2	7.1
放火（疑いを含む）	28	12.2	▲4	▲12.5
たき火	22	9.6	▲3	▲12.0
電灯・電話等の配線	9	3.9	▲8	▲47.1
電気機器	8	3.5	▲2	▲20.0
配線器具	8	3.5	0	0.0
ストーブ	5	2.2	▲5	▲50.0
火あそび	5	2.2	0	0.0
排気管	5	2.2	▲4	▲44.4
火入れ	4	1.7	2	100.0
焼却炉	4	1.7	2	100.0
灯火	4	1.7	1	33.3
溶接器・切断機	4	1.7	1	33.3
取灰	3	1.3	▲1	▲25.0
マッチ・ライター	2	0.9	▲2	▲50.0
煙突・煙道	1	0.4	▲1	▲50.0
電気装置	1	0.4	▲2	▲66.7
内燃機関	1	0.4	▲2	▲66.7
風呂かまど	0	0.0	▲1	▲100.0
炉	0	0.0	▲5	▲100.0
その他	30	13.1	▲12	▲28.6
不明・調査中	17	7.4	0	0.0
総計	229	100.0	▲48	▲17.3

第5-1図 出火原因（上位5位）の火災件数の推移



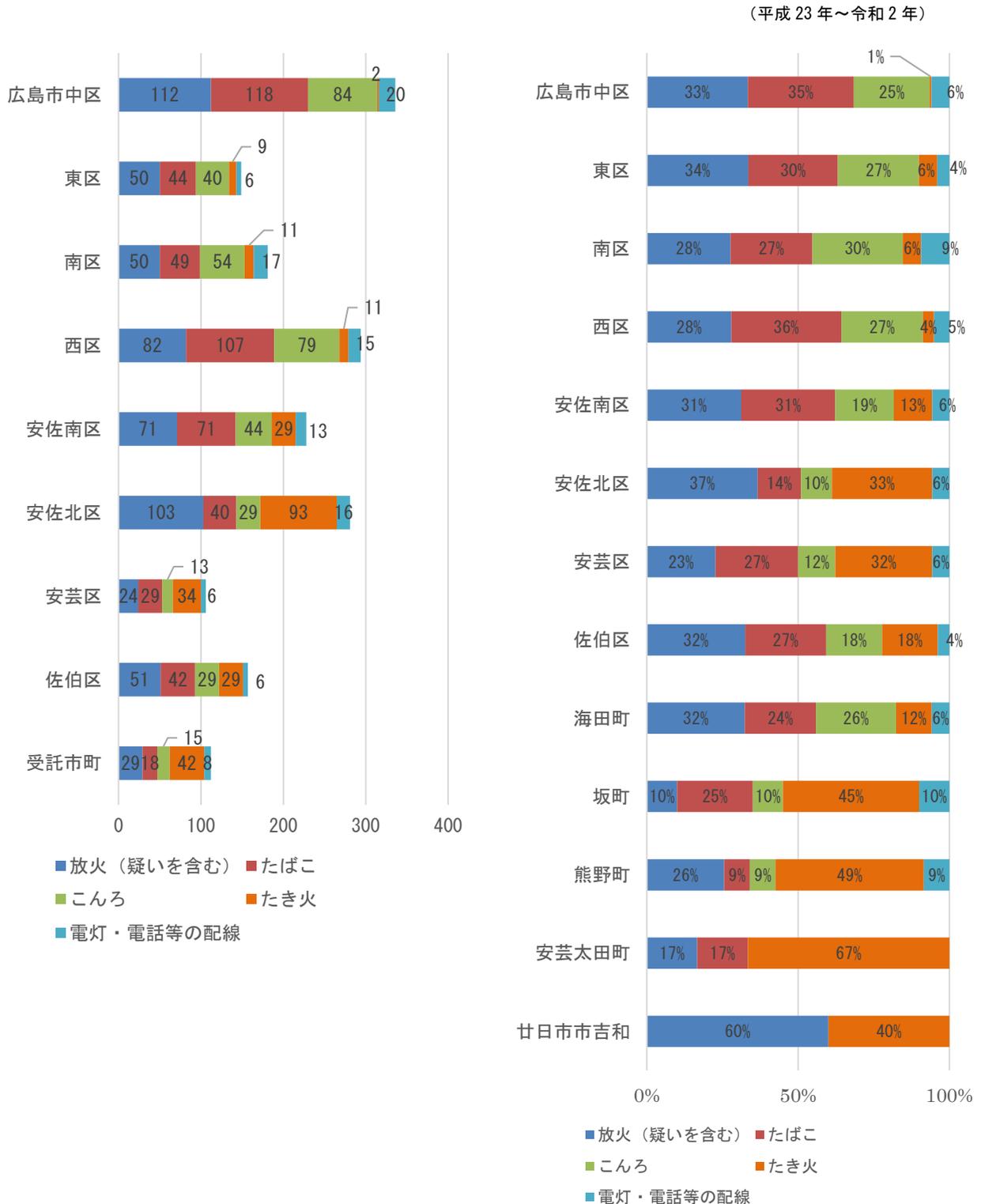
第5-2図 出火原因（上位5位）の月別火災発生件数



(2) 行政区・受託市町別火災の傾向

過去10年間の行政区・受託市町別出火原因をみると、「たばこ」及び「たき火」の割合は地域によって大きく変化しているのに対し、「電灯・電話等の配線」はどの地域も大差なく5%前後となっている（第5-3図）。

第5-3図 行政区・受託市町別出火原因件数及び割合



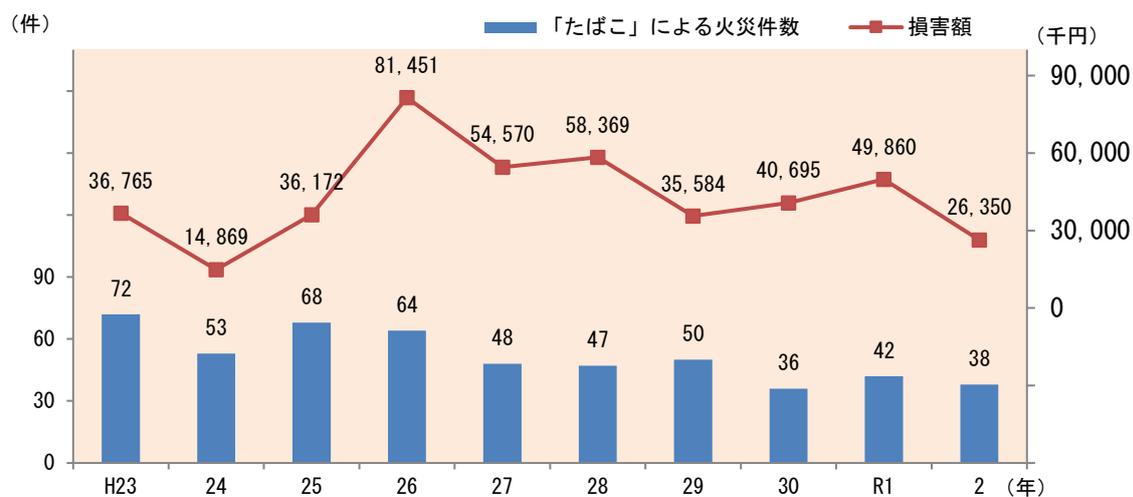
(3) 「たばこ」による火災の推移と傾向

令和2年中の「たばこ」による火災は38件で、全火災(229件)の16.6%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、72件であった平成23年以降おおむね減少傾向となっており、損害額は平成26年が8,145万1千円と最も高く、それ以降は減少を繰り返しながらも緩やかな減少傾向となっている(第5-4図)。

令和2年中の主な経過別火災件数をみると、火種の残った吸い殻をごみ箱やビニール袋に捨てる等の「不適當なところに捨てる」が33件(86.8%)と8割以上を占めている(第5-2表)。

第5-4図 「たばこ」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-2表 「たばこ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	たばこ		
	令和2年	令和元年	増減数
火災件数(件)	38	42	▲4
建物火災	24	29	▲5
林野火災	1	1	0
車両火災	1	0	1
その他の火災	12	12	0
経過別火災件数(件)			
不適當なところに捨てる	33	34	▲1
火源が転倒落下する	5	5	0
高温物が触れる	0	1	▲1
不適當なところに置く	0	1	▲1
容器(着火物用)が破損腐食する	0	1	▲1
建物焼損床面積(m ²)	116	262	▲146
建物焼損表面積(m ²)	44	117	▲73
損害額(千円)	26,350	49,860	▲23,510

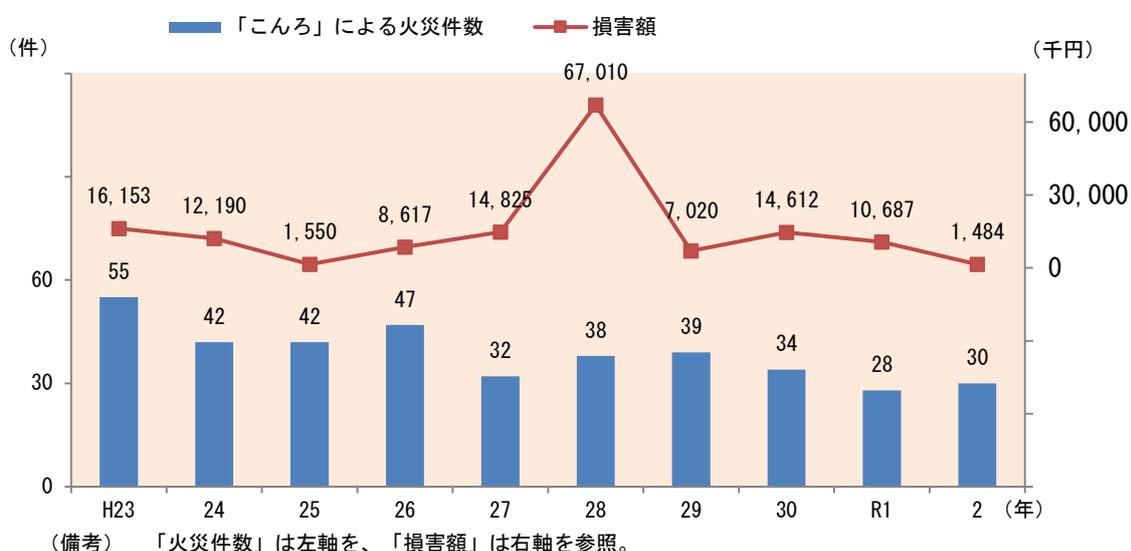
(4) 「こんろ」による火災の推移と傾向

令和2年中の「こんろ」による火災は30件で、全火災(229件)の13.1%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、55件であった平成23年から大幅に減少しているものの、平成27年以降は30件前後でほぼ横ばい状態となっている。損害額は平成28年が6,701万0千円と最も高く、令和2年が1,484千円と最も低い(第5-5図)。

令和2年中の主な経過別火災件数をみると、「放置する」が16件と約5割を占めており、次いで、「忘れる」が4件となっている(第5-3表)。

第5-5図 「こんろ」による火災件数の推移



第5-3表 「こんろ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	こんろ		
	令和2年	令和元年	増減数
火災件数(件)	30	28	2
建物火災	30	28	2
経過別火災件数(件)			
放置する	16	11	5
忘れる	4	2	2
可燃物が動いて火源に触れる	3	2	1
考え違いにより使用を誤る	2	4	▲2
過熱する	2	2	0
引火する	1	4	▲3
その他	2	3	▲1
建物焼損床面積(m ²)	33	130	▲97
建物焼損表面積(m ²)	18	178	▲160
損害額(千円)	1,484	10,687	▲9,203

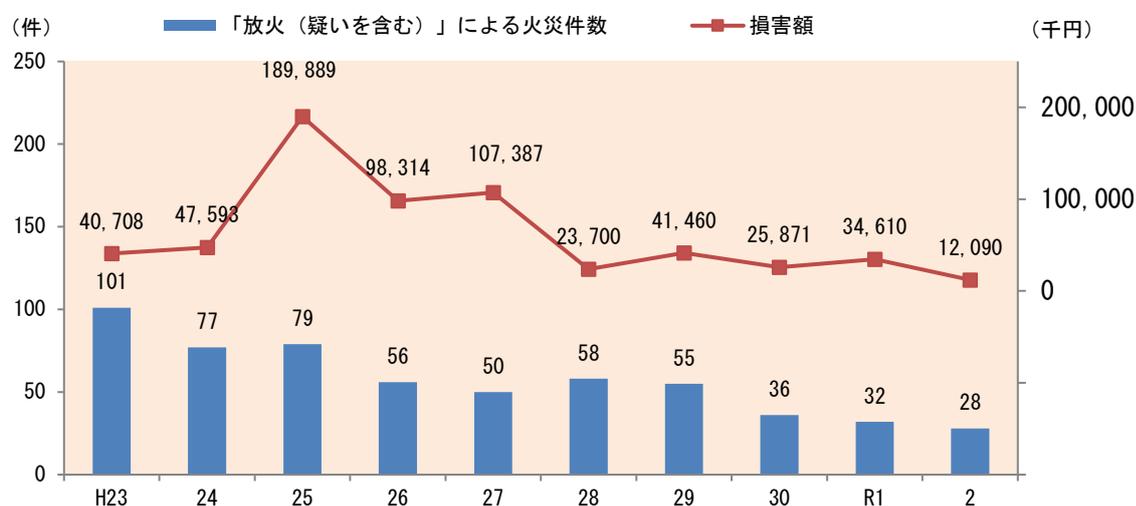
(5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向

令和2年中の「放火（疑いを含む）」による火災は28件で、全火災（229件）の12.2%を占めている。火災種別をみると、「建物火災」が前年に比べ9件減少する一方、「その他の火災」は7件増加している（第5-6図）。

過去10年間の火災件数をみると、101件であった平成23年以降おおむね減少傾向となっており、損害額についても平成25年以降おおむね減少傾向となっている（第5-4表）。

過去5年間の件数を行政区別にみると、「中区」が39件で最も多く、次いで、「安佐南区」が34件となっている。一方、「安芸区」が8件で最も少ない（第5-5表）。

第5-6図 「放火（疑いを含む）」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-4表 「放火（疑いを含む）」による火災の損害状況等

区分	放火（疑いを含む）		
	令和2年	令和元年	増減数
火災件数（件）	28	32	▲4
建物火災	14	23	▲9
林野火災	0	1	▲1
車両火災	1	2	▲1
その他の火災	13	6	7
建物焼損床面積（㎡）	100	497	▲397
建物焼損表面積（㎡）	63	84	▲21
損害額（千円）	12,090	34,610	▲22,520

第5-5表 「放火（疑いを含む）」による火災の行政区別発生件数

(件)

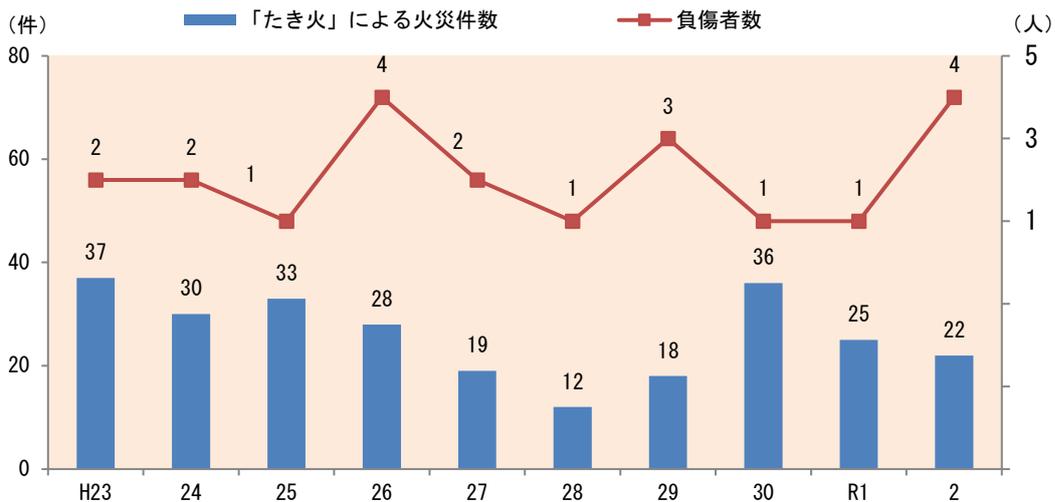
区分		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	過去 5 年間 計	年平均
広島市	中区	13	9	3	9	5	39	7.8
	東区	2	4	6	2	1	15	3
	南区	2	7	3	5	5	22	4.4
	西区	4	7	4	5	4	24	4.8
	安佐南区	18	6	3	5	2	34	6.8
	安佐北区	8	8	11	2	4	33	6.6
	安芸区	1	3	1	1	2	8	1.6
	佐伯区	6	7	4	0	3	20	4
広島市 計		54	51	35	29	26	195	39
受託市町	安芸郡海田町	0	1	1	2	1	5	1
	安芸郡坂町	1	1	0	0	0	2	0.4
	安芸郡熊野町	3	2	0	0	1	6	1.2
	安芸太田町	0	0	0	1	0	1	0.2
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0
受託市町 計		4	4	1	3	2	14	2.8
総計		58	55	36	32	28	209	41.8

(6) 「たき火」による火災の推移と傾向

令和2年中の「たき火」による火災は22件で、全火災（229件）の9.6%を占めている。過去10年間の火災件数をみると、37件であった平成23年以降減少傾向にあったが、平成30年に36件まで増加し、それ以降再度減少傾向にある（第5-7図）。

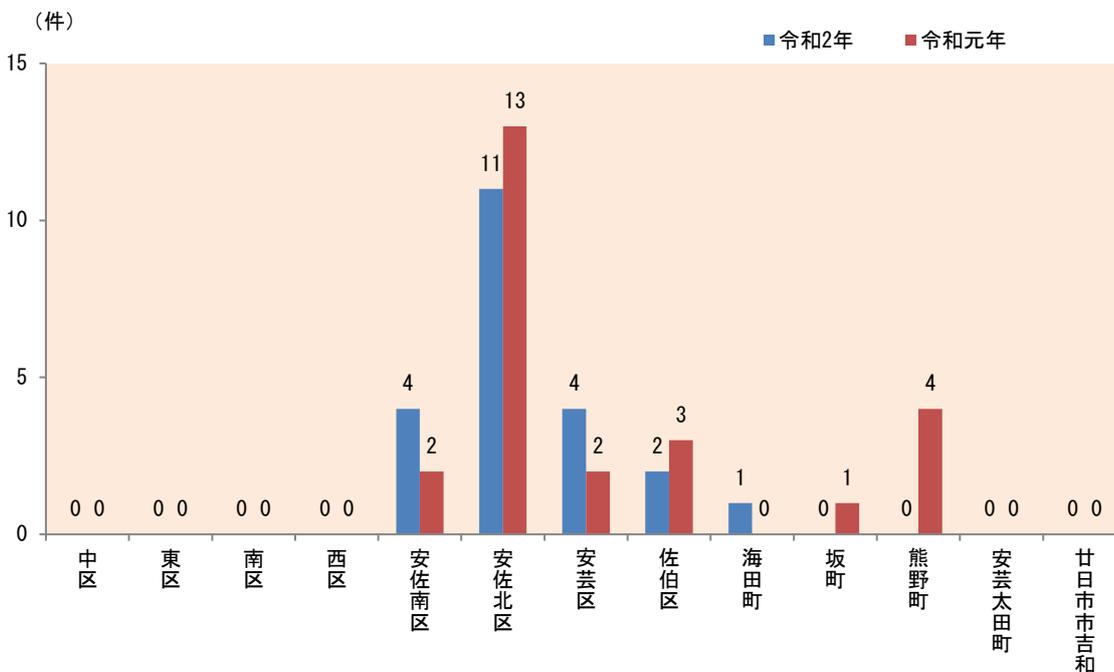
令和2年中の火災件数を行政区別にみると、「安佐北区」が11件で最も多く、他行政区と比較すると顕著に多い（第5-8図）。

第5-7図 「たき火」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「負傷者数」は右軸を参照。

第5-8図 「たき火」による火災の行政区別発生状況



6 建物火災の主な出火原因

(1) 建物火災の主な出火原因

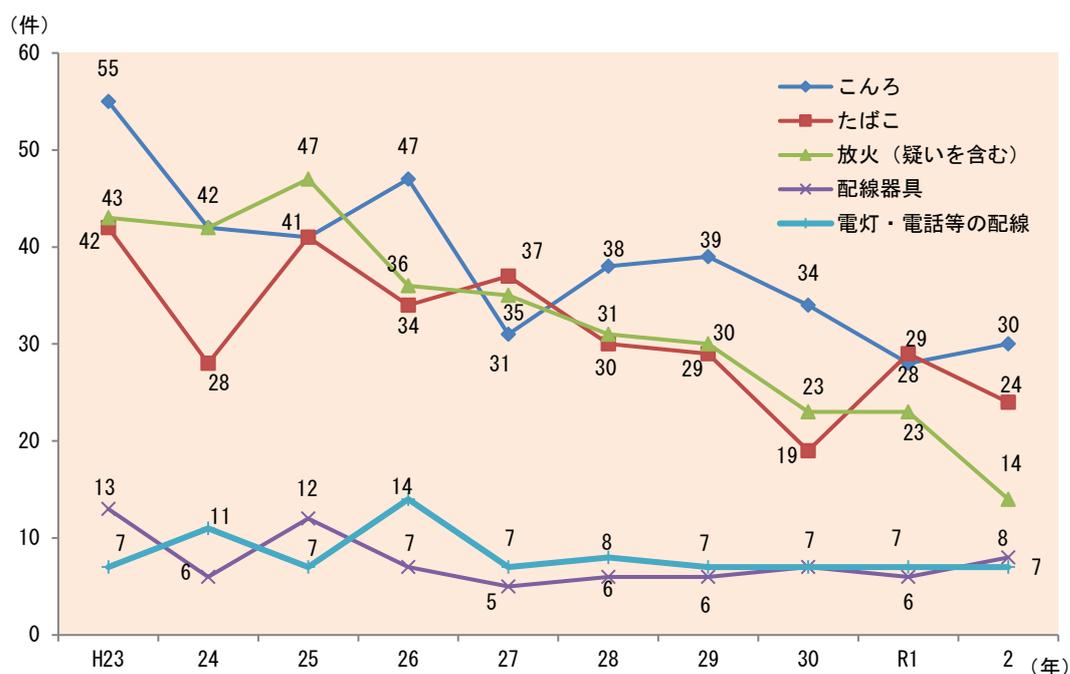
令和2年中の建物火災（145件）を出火原因別にみると、「こんろ」が30件で最も多く、次いで、「たばこ」が24件、「放火（疑いを含む）」が14件となっている（第6-1表）。

過去10年間の建物火災における主な出火原因の推移をみると、「こんろ」、「たばこ」及び「放火（疑いを含む）」が減少傾向にある一方、「配線器具」及び「電灯・電話等の配線」はほぼ横ばいとなっている（第6-1図）。

第6-1表 建物火災の主な出火原因

区分	令和2年		令和元年		増減数（件）
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	
こんろ	30	20.7	28	16.7	2
たばこ	24	16.6	29	17.3	▲5
放火（疑いを含む）	14	9.7	23	13.7	▲9
配線器具	8	5.5	6	3.6	2
電灯・電話等の配線	7	4.8	7	4.2	0
ストーブ	5	3.4	10	6.0	▲5
電気機器	5	3.4	7	4.2	▲2
上記以外	52	35.9	58	34.5	▲6
総計	145	100.0	168	100.0	▲23

第6-1図 建物火災における主な出火原因の推移



(2) 「こんろ」による火災の発生状況

建物火災のうち、「こんろ」による火災（30件）を熱源及び器具別で見ると、ガス器具による火災が22件で最も多く、約7割を占めている（第6-2表）。

着火物別にみると、「てんぷら油」が14件で、約5割を占めている（第6-3表）。

初期消火実施状況をみると、初期消火を実施したものは29件で、そのうち、初期消火に成功したものが26件となっている（第6-2図）。

第6-2表 「こんろ」による火災の器具別火災件数

(件)

区分		令和2年	令和元年	増減	
熱源別	器具別				
電気	電気クッキングヒーター	1	1	0	
	電気こんろ	1	1	0	
	電磁調理器（IH調理器）	5	0	5	
	電気 計	7	2	5	
ガス	都市ガス	ガスこんろ・テーブル	12	14	▲2
		大型こんろ	1	0	1
		都市ガス 計	13	14	▲1
	液化石油ガス（LPG）	ガスこんろ・テーブル	5	9	▲4
		簡易型ガスこんろ（カセット型）	3	2	1
		大型こんろ	1	0	1
		液化石油ガス 計	9	11	▲2
	ガス器具 合計		22	25	▲3
その他	アルコールこんろ	1	1	0	
	その他 計	1	1	0	
総計		30	28	2	

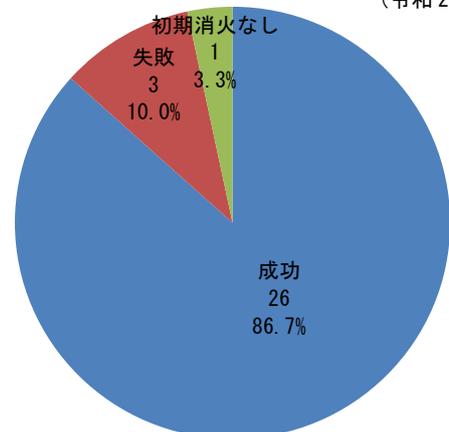
第6-3表 「こんろ」による火災の着火物別件数

(件)

着火物	令和2年	令和元年
てんぷら油	14	7
動植物油類	5	4
油かす	4	3
合成樹脂類と成型品	2	3
その他	5	11
総計	30	28

第6-2図 「こんろ」による火災の初期消火実施状況

(令和2年中)
(件)



(3) 「たばこ」による火災の発生状況

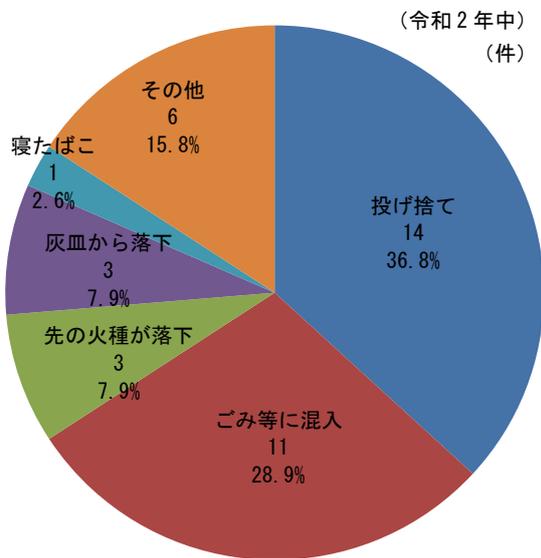
建物火災のうち、「たばこ」による火災（24件）を出火要因別にみると、「投げ捨て」が14件で最も多く、次いで、「ごみ等に混入した」が11件となっている（第6-3図）。

着火物別にみると、「ごみ類」が10件で最も多く、次いで、「寝具」が5件となっている（第6-4図）。

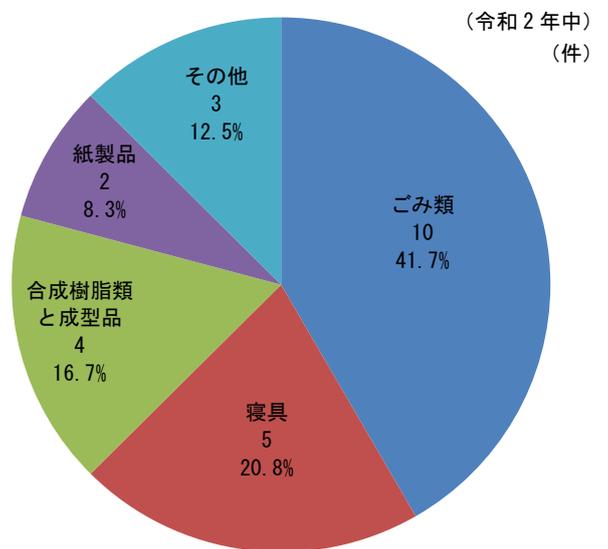
出火箇所別にみると、「住居部分」が10件で最も多く、そのうち、「居室」及び「台所」が4件となっている（第6-5図）。

「たばこ」による火災は、「投げ捨て」や「ごみ等に混入」などの吸い殻の処理方法に起因するものが約7割を占めているため、処理方法を改善することがそのまま火災予防に直結するといえる。

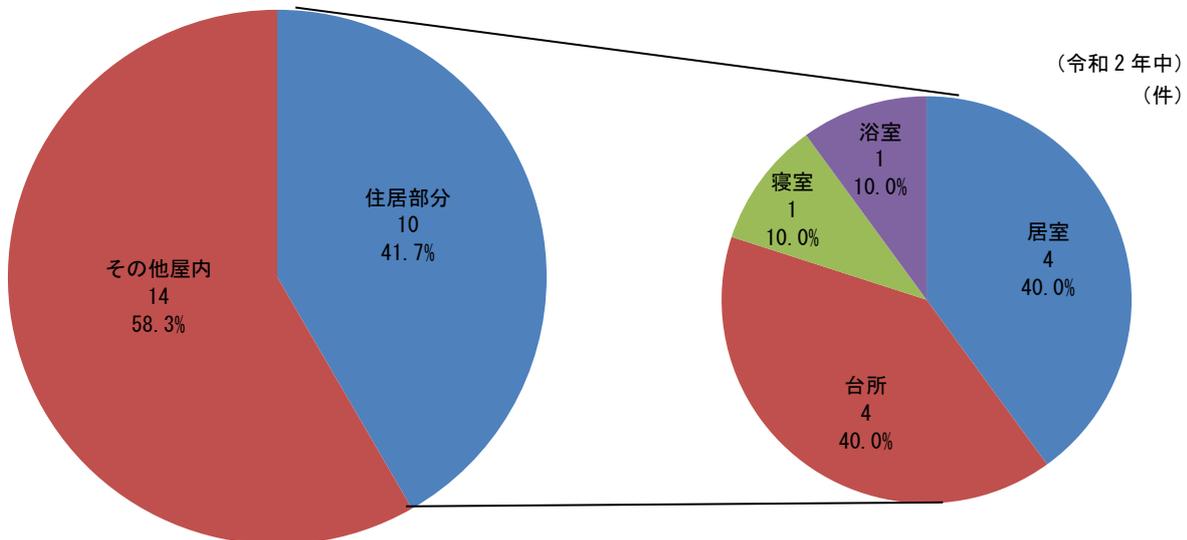
第6-3図 「たばこ」による火災の出火要因別件数



第6-4図 「たばこ」による火災の着火物別件数



第6-5図 建物火災のうち、「たばこ」による火災の出火箇所別件数



(備考) 「その他屋内」とは、ベランダ、飲食店舗、事務所等をいう。

(4) 「ストーブ」による火災の発生状況

令和2年中の「ストーブ」による火災は5件で、前年に比べ5件減少している

器具別にみると、「電気ストーブ（開放式）」によるものが3件で最も多く、全体の6割を占めており、前年に比べ5件減少している（第6-4表）。

過去10年間の器具別件数の推移をみると、「電気ストーブ」は増減を繰り返しながらも緩やかな減少傾向となっており、「石油ストーブ」は平成23年から平成29年まで5件前後で推移し、平成30年以降は1、2件まで減少している（第6-6図）。

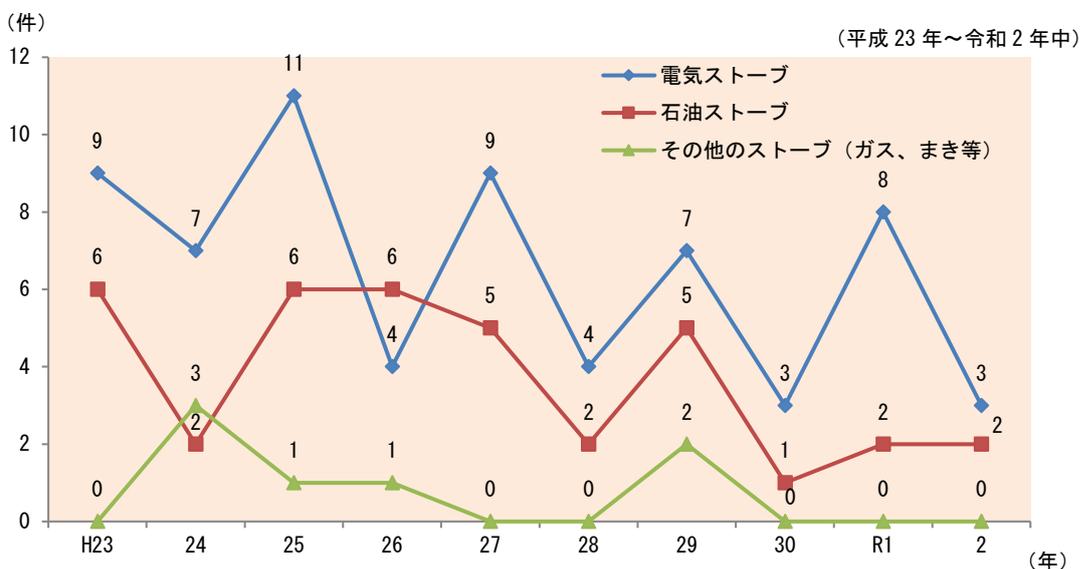
「ストーブ」による火災の傾向として、可燃物が何らかの形で接触することによるものが多くを占めているため、ストーブの使用環境を改めることが火災予防に効果的であるといえる。

第6-4表 「ストーブ」による火災の器具別・経過別件数

(件)

区分		令和2年	令和元年	増減
器具別	経過別			
石油ストーブ（開放式）	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	0	1
	本来の用途以外の不適な用に用いる	1	0	1
	燃料を間違う	0	1	▲1
	引火する	0	1	▲1
	石油ストーブ 計	2	2	0
電気ストーブ（開放式）	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	0	1
	考え違いにより使用を誤る	1	0	1
	構造不完全デザイン不良	1	0	1
	可燃物が動いて火源に触れる	0	4	▲4
	意図なしにスイッチが入る	0	1	▲1
	その他	0	3	▲3
	電気ストーブ 計	3	8	▲5
総計		5	10	▲5

第6-6図 「ストーブ」による火災の器具別件数の推移



(5) 「電気機器」による火災の発生状況

令和2年中の「電気機器」による火災は5件で、前年に比べ2件減少している。

発火源別でみると、「蓄電池」が2件で最も多い。前年は「リチウム電池」が3件で最も多かったが、令和2年中は「リチウム電池」による火災は発生していない。(第6-5表)。

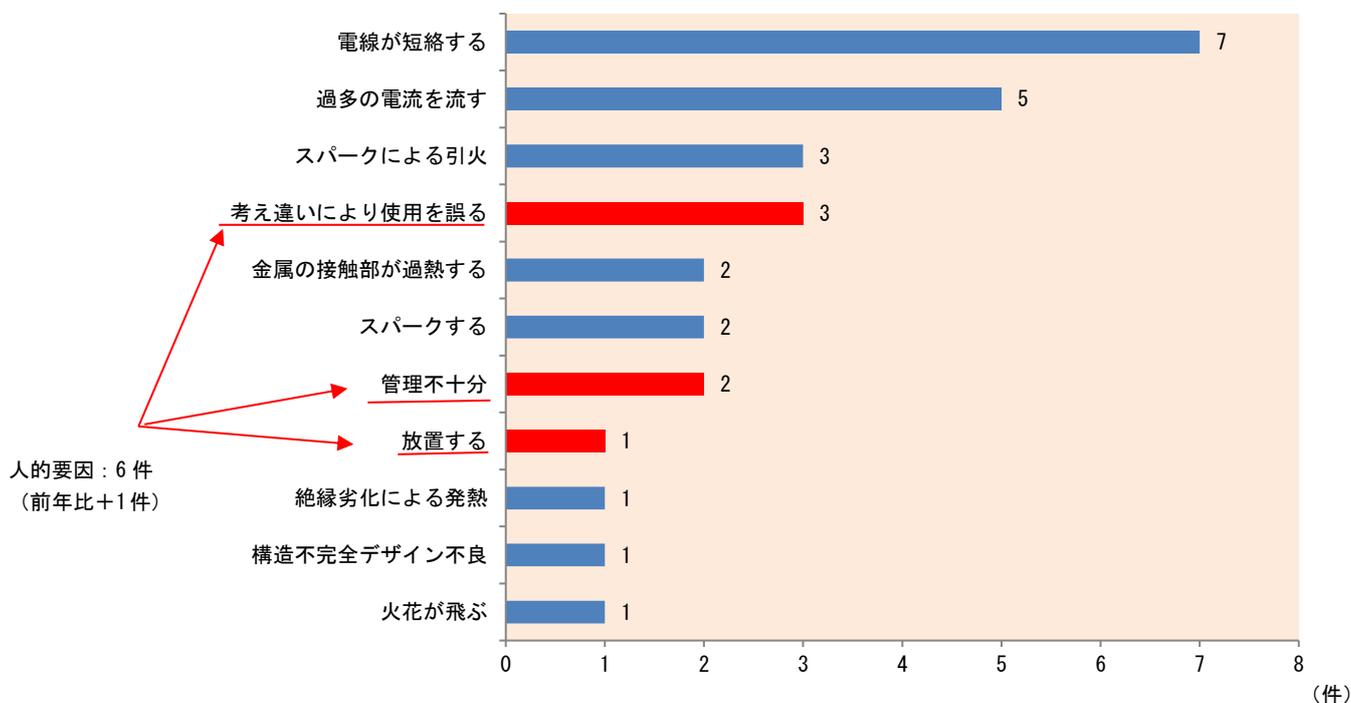
過去5年間の経過別でみると、「電線が短絡する」がそれぞれ7件で最も多く、次いで、「過多の電流を流す」が5件となっている。また、「考え違いにより使用を誤る」や「管理不十分」等の人的要因によるものは、6件となっており、前年に比べ1件増加している(第6-7図)。

第6-5表 「電気機器」による火災の発火源別件数 (件)

区分	令和2年	令和元年	増減数
蓄電池	2	2	0
コンピュータ(本体)	1	0	1
冷凍庫・冷凍冷蔵ケース	1	1	0
リチウム電池	0	3	▲3
その他の電気機器	1	1	0
総計	5	7	▲2

第6-7図 過去5年間の「電気機器」による火災の経過別件数

(平成28年～令和2年)



7 林野火災の主な出火原因

令和2年中の林野火災（5件）を出火原因別にみると、「たき火」が3件で最も多く、次いで、「たばこ」及び「焼却炉」が、それぞれ1件ずつとなっている（第7-1表）。

過去10年間の林野火災件数（87件）を行政区別にみると、「安佐北区」が20件で最も多く、次いで、「安佐南区」が15件となっている（第7-2表）。

第7-1表 林野火災の主な出火原因

区分	令和2年		令和元年		増減数
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	件数（件）
たき火	3	60.0	1	33.3	2
たばこ	1	20.0	1	33.3	0
焼却炉	1	20.0	0	0	1
放火（疑いを含む）	0	0.0	1	33.3	▲1
総計	5	100.0	3	100.0	2

第7-2表 過去10年間の林野火災の行政区別件数（平成23年～令和2年）

区分	行政区別	件数（件）	構成比（%）
広島市	中区	0	0.0
	東区	8	9.2
	南区	5	5.7
	西区	9	10.3
	安佐南区	15	17.2
	安佐北区	20	23.0
	安芸区	13	14.9
	佐伯区	9	10.3
	広島市 計	79	90.8
受託市町	海田町	1	1.1
	坂町	3	3.4
	熊野町	3	3.4
	安芸太田町	1	1.1
	廿日市市吉和	0	0.0
	受託市町 計	8	9.2
総計		87	100.0

8 車両火災の主な出火原因

令和2年中の車両火災（16件）を出火原因別にみると、「排気管」が4件で最も多く、25.0%を占めている。次いで、「電気機器」が3件となっている（第8-1表）。

過去10年間の「排気管」に起因した火災は66件で、発生経過及び着火物別にみると、「着火物が漏洩する」が25件で最も多く、そのうち、エンジンオイル等の「第4石油類」に着火したものが20件と8割を占めている。次いで、「可燃物が動いて火源に触れる」が12件で、そのうち、ウエス等の「繊維製品」に着火したものが8件となっている。（第8-2表）。

第8-1表 車両火災の主な原因

区分	令和2年		令和元年		増減数 件数（件）
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	
排気管	4	25.0	8	32.0	▲4
電気機器	3	18.8	2	8.0	1
たばこ	1	6.3	0	0.0	1
放火（疑いを含む）	1	6.3	2	8.0	▲1
内燃機関	1	6.3	3	12.0	▲2
その他	6	37.5	10	40.0	▲4
総計	16	100.0	25	100.0	▲9

第8-2表 「排気管」による火災の発生経過及び着火物別件数

（平成23年～令和2年）
（件）

経過 区分	着火物						
	第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	繊維製品	その他可燃物	計
着火物が漏洩する	2	2	1	20	0	0	25
可燃物が動いて火源に触れる	0	0	0	1	8	3	12
衝突により発火（交通事故）	0	0	2	7	0	0	9
高温物が触れる	0	0	0	1	2	2	5
可燃物が火源の上に落下する	0	0	3	0	0	1	4
その他	0	1	0	3	1	6	11
計	2	3	6	32	11	12	66

9 その他の火災の主な出火原因

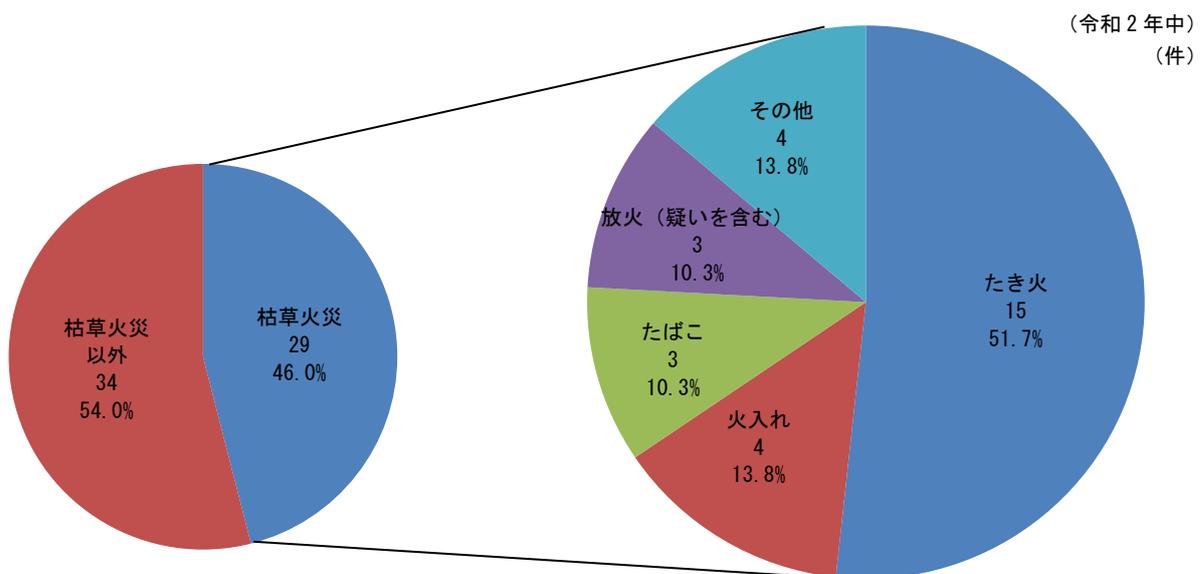
令和2年中のその他の火災（63件）を出火原因別にみると、「たき火」が15件で最も多く、23.8%となっており、次いで、「放火（疑いを含む）」が13件となっている（第9-1表）。

その他の火災のうち、「枯草火災」は29件で、出火原因別内訳は「たき火」が15件で最も多く、次いで、野焼き等の「火入れ」が4件となっている（第9-1図）。

第9-1表 その他の火災の主な出火原因

区分	令和元年		平成30年		増減数 件数（件）
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	
たき火	15	23.8	20	24.7	▲5
放火（疑いを含む）	13	20.6	6	7.4	7
たばこ	12	19.0	12	14.8	0
火入れ	4	6.3	1	1.2	3
火あそび	3	4.8	4	4.9	▲1
溶接機・切断機	3	4.8	1	1.2	2
電灯・電話等の配線	2	3.2	10	12.3	▲8
その他	11	17.5	27	33.3	▲16
総計	63	100.0	81	100.0	▲18

第9-1図 その他の火災のうち、「枯草火災」の出火原因別件数



（備考） 「枯草火災」とは、主な焼損物件が枯草及び落葉等のものをいう。

10 住宅用火災警報器と住宅火災

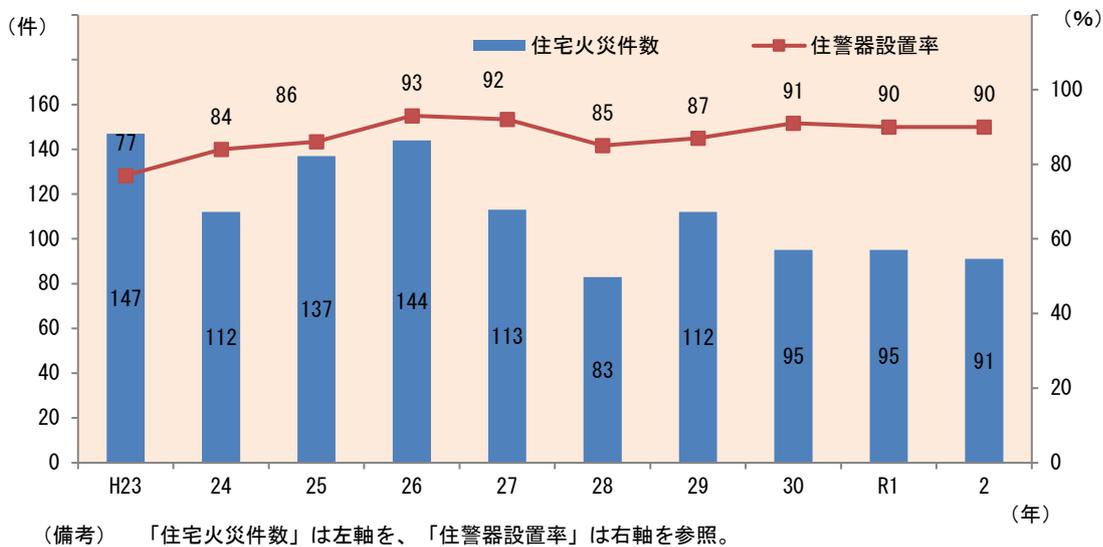
(1) 住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移

過去10年間の住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）設置率は平成23年から微増傾向であり、平成30年以降は90%付近を推移している。住宅火災件数はおおむね減少傾向となっている（第10-1図）。

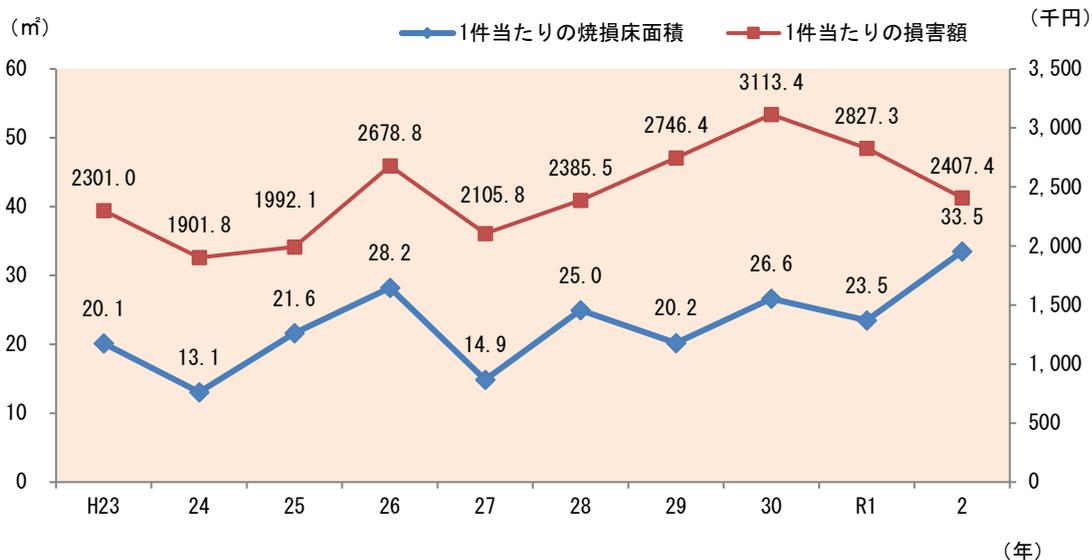
なお、住警器設置率について、平成25年以前が「広島市」のデータで、平成26年以降は「広島市消防局管内（受託市町を含む）」のデータとなっている。

また、1件当たりの焼損状況を見ると、焼損床面積は全体的に増加傾向となっており、損害額は平成30年まで増加傾向、以降は減少傾向となっている（第10-2図）。

第10-1図 住警器設置率と住宅火災件数の推移



第10-2図 住宅火災1件当たりの焼損床面積及び損害額の推移



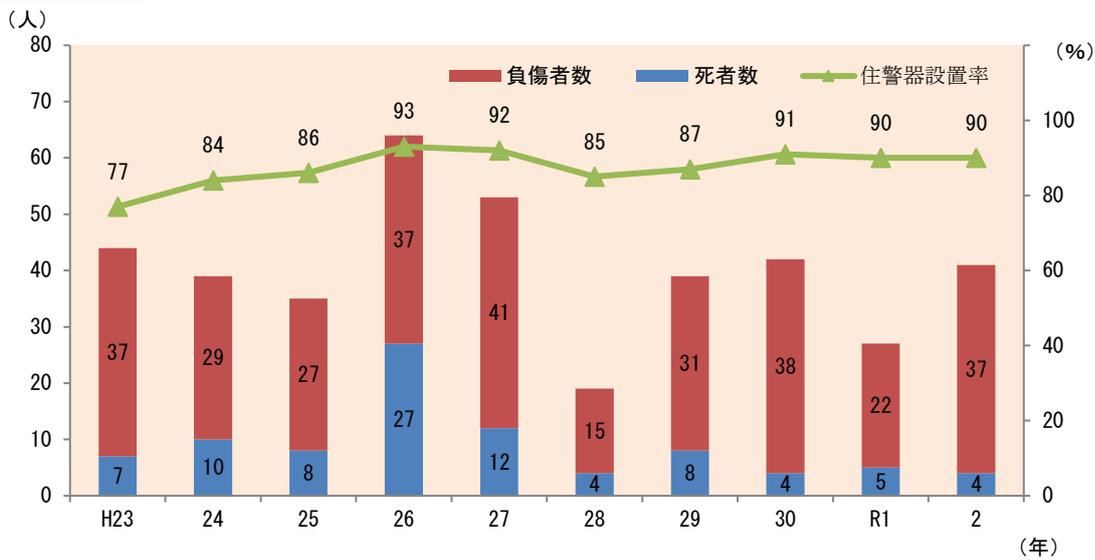
(2) 住警器と死傷者

住宅火災による死傷者数はおおむね40人程度を推移しており、住警器設置率との相関性は認められない（第10-3図）。

また、住警器又は自動火災報知設備（以下「自火報」という。）設置状況別の火災100件当たりの死傷者数をみると、死者、負傷者ともに「未設置・設置不明」の方が多くなっている（第10-4図）。

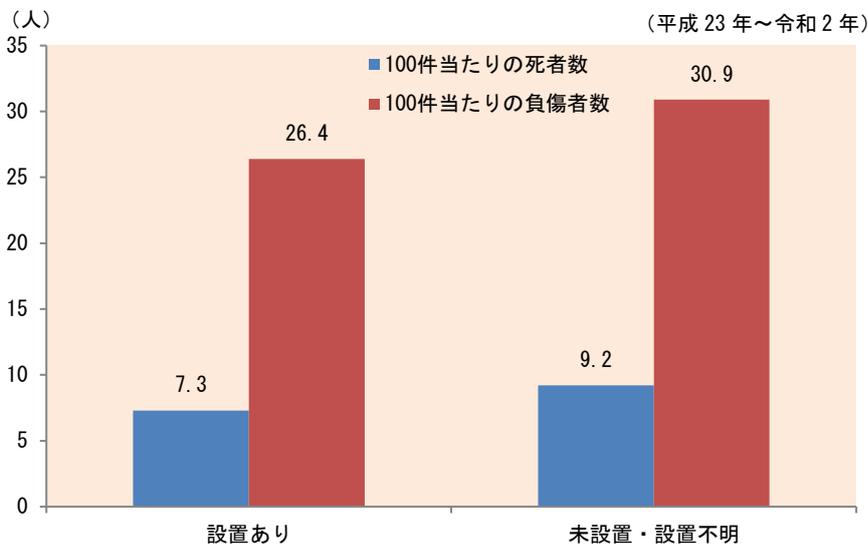
さらに、住警器又は自火報設置状況別の死者概要をみると、一人暮らしの該当割合について、「設置」の方が高くなっているのに対し、その他の項目は設置状況によらずおおむね同様の傾向を示している（第10-5図）。

第10-3図 住警器設置率と住宅火災による死傷者数の推移

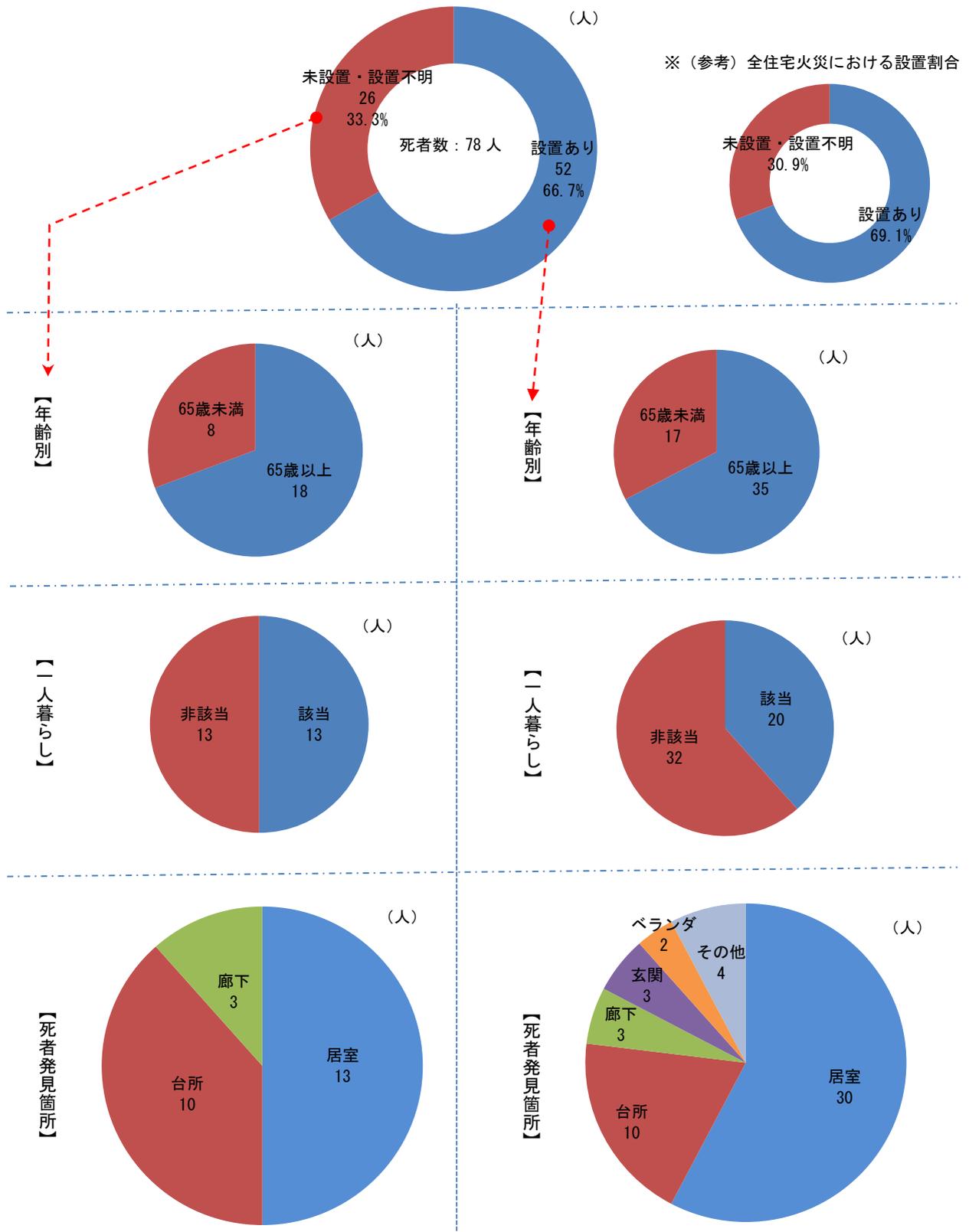


（備考） 「死者数」及び「負傷者数」は左軸を、「住警器設置率」は右軸を参照。

第10-4図 住警器（自火報を含む）設置状況別の住宅火災100件当たりの死傷者数



第10-5図 住警器（自火報を含む）設置状況別の死者（放火自殺者を除く）概要



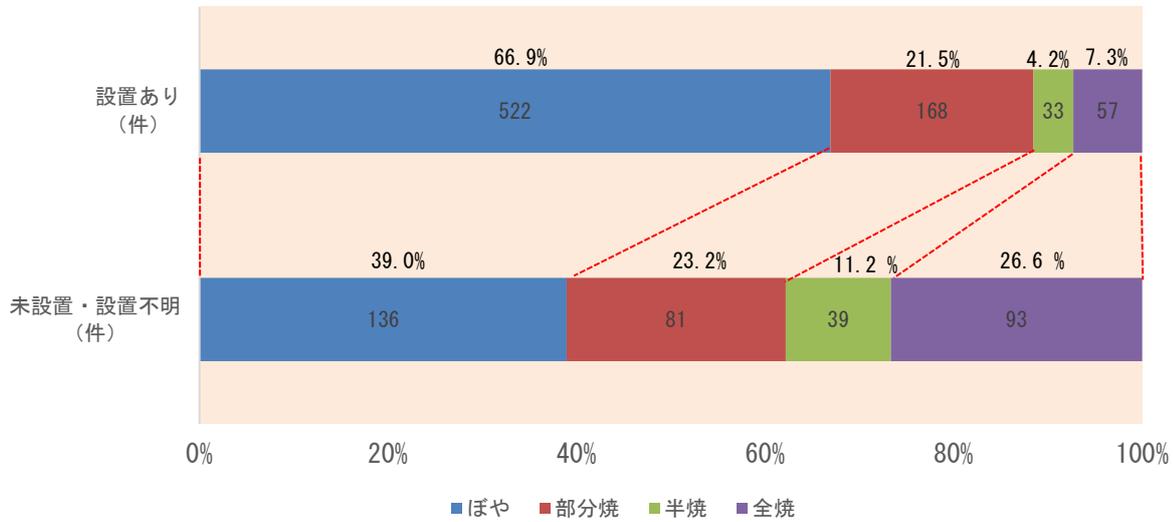
(3) 住警器（自火報を含む）と火災概況

住警器（自火報を含む）設置状況別の焼損程度をみると、「設置あり」が、ぼやが66.9%、全焼が7.3%であるのに対し、「未設置・設置不明」は、ぼやが39.0%、全焼が26.6%となっている（第10-6図）。

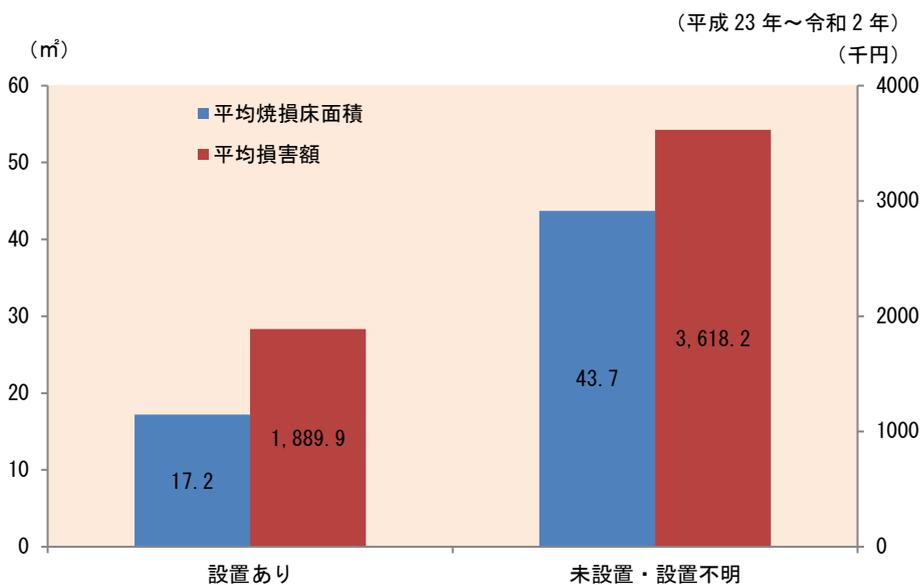
また、住宅火災1件当たりの焼損状況をみると、焼損床面積、損害額ともに「設置あり」と比較して、「未設置・設置不明」の方が大幅に高くなっている（第10-7図）。

これらの各データによって、住警器（自火報を含む）を設置することで、焼損程度・焼損床面積・損害額の全てにおいて被害が軽減されている状況が認められる。

第10-6図 住宅火災における住警器（自火報を含む）設置状況別の焼損程度 (平成23年～令和2年)



第10-7図 住宅火災における住警器（自火報を含む）設置状況別の平均被害状況 (平成23年～令和2年)

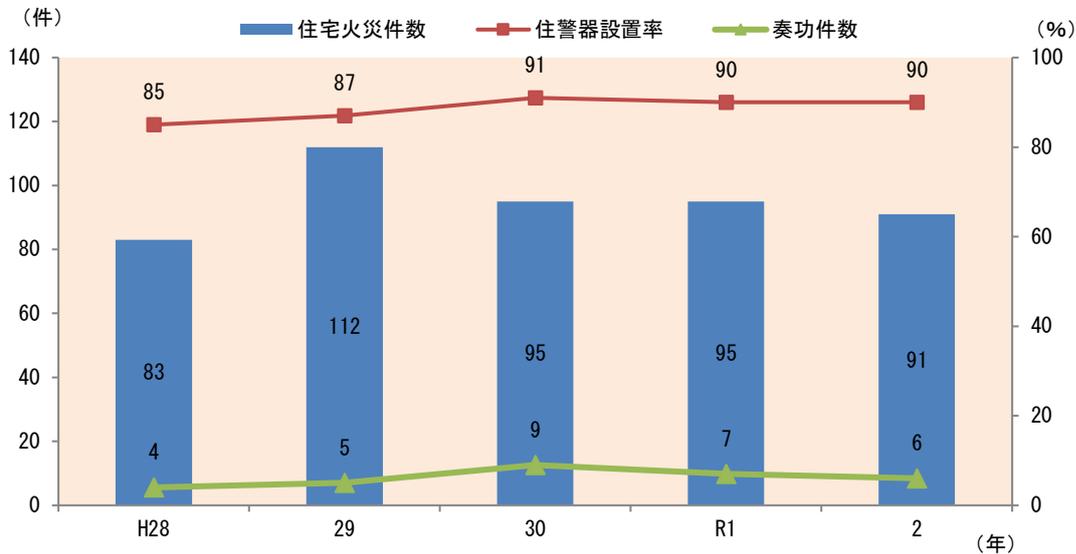


(備考) 「平均焼損床面積」は左軸を、「平均損害額」は右軸を参照。

(4) 住警器奏功事例

過去5年間で、住警器が奏功した事案は31件発生しており、年平均にすると、毎年約6件となっている（第10-8図）。

第10-8図 過去5年間の住警器奏功件数



(備考) 「住宅火災件数」及び「住警器奏功件数」は左軸を、「住警器設置率」は右軸を参照。

【事例①】

一般住宅の台所において、居住者が鍋をガスコンロにかけたまま外出したことで出火。住警器の警報音を聞き駆けつけた近隣住民が窓ガラスを割り、その窓から消火器を噴射させ消火に成功した。

【事例②】

一般住宅の居室において、居住者が寝たばこをしてしまい、たばこの火種が布団上に落下し、布団から発煙。住警器の警報音で目覚めた居住者が、やかんで水をかけることで消火に成功した。

【事例③】

共同住宅の一室において、電気ストーブのスイッチが誤操作により押下されたことで付近の可燃物と接触し発煙。台所で料理中だった居住者が、住警器の警報音で異変に気付き、対処したことにより火災に至らなかった。



火災の早期発見のため、住警器を設置しようや！
ちゃんと作動するように定期点検も忘れようね！



11 別表

第1表 覚知別火災概況

区分	総計	火災報知専用電話	警察電話	加入電話	その他
出火件数（件）	229	183	11	3	32
建物	145	120	3	1	21
林野	5	5	-	-	-
車両	16	11	2	-	3
船舶	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-
その他	63	47	6	2	8
焼損棟数（棟）	188	163	3	1	21
全焼	22	22	-	-	-
半焼	8	8	-	-	-
部分焼	45	44	-	-	1
ぼや	113	89	3	1	20
建物焼損床面積（㎡）	3,727	3,725	-	-	2
表面積（㎡）	596	592	2	-	2
林野焼損面積（a）	11	11	-	-	-
死者（人）	5	4	-	-	1
負傷者（人）	51	47	-	1	3
り災世帯数（世帯）	150	137	1	1	11
全損	20	20	-	-	-
半損	7	7	-	-	-
小損	123	110	1	1	11
り災人員（人）	313	291	3	2	17
損害額（千円）	270,035	267,493	86	4	2,452
建物	258,382	255,991	3	2	2,386
林野	-	-	-	-	-
車両	5,867	5,742	63	-	62
船舶	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-
その他	2,546	2,520	20	2	4
爆発	3,240	3,240	-	-	-

第2表 月・日別火災件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	229	15	16	26	32	19	15	10	17	18	18	22	21	-
1日	3	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
2日	6	1	-	2	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-
3日	7	-	1	-	1	-	-	1	1	1	1	1	-	-
4日	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-
5日	10	-	1	2	1	-	1	-	2	-	1	1	1	-
6日	9	1	-	5	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-
7日	8	-	-	-	1	1	1	-	2	2	1	-	-	-
8日	10	-	1	-	2	2	-	1	-	-	1	1	2	-
9日	6	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2	-
10日	4	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	1	-	-
11日	5	-	-	1	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-
12日	5	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	2	-
13日	10	-	2	1	1	-	-	-	-	-	3	1	2	-
14日	13	-	-	2	-	-	2	1	1	1	1	2	3	-
15日	5	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
16日	9	3	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	1	-
17日	16	2	1	1	4	3	2	-	1	1	-	1	-	-
18日	7	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	3	1	-
19日	6	1	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-
20日	5	-	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-	1	-
21日	7	-	1	-	1	-	1	1	-	-	-	2	1	-
22日	7	-	1	2	1	-	-	1	-	2	-	-	-	-
23日	8	1	1	-	-	3	-	-	1	1	-	1	-	-
24日	12	-	1	2	1	2	-	-	2	2	2	-	-	-
25日	10	1	-	2	2	-	2	-	-	-	1	2	-	-
26日	5	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-
27日	8	-	-	1	2	1	1	-	-	1	-	-	2	-
28日	7	1	-	-	2	1	1	-	-	-	2	-	-	-
29日	8	-	1	1	2	-	1	1	-	1	-	-	1	-
30日	4	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-
31日	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

第3表 月・曜日別火災概況

区分	出火件数（件）							焼損棟数（棟）					焼損面積			死傷者（人）	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野面積（a）	死者	負傷者
総計	229	145	5	16	-	-	63	188	22	8	45	113	3,727	596	11	5	51
1月	15	12	-	2	-	-	1	18	3	-	5	10	313	71	-	1	5
2月	16	9	1	1	-	-	5	12	-	2	4	6	235	19	1	-	2
3月	26	15	-	-	-	-	11	16	2	-	4	10	323	26	-	-	12
4月	32	17	2	3	-	-	10	19	-	3	3	13	241	121	6	1	10
5月	19	11	1	3	-	-	4	12	-	-	5	7	43	36	3	-	1
6月	15	11	-	1	-	-	3	12	-	-	2	10	-	10	-	-	3
7月	10	4	-	1	-	-	5	4	-	-	1	3	31	12	-	1	1
8月	17	11	1	2	-	-	3	12	1	-	3	8	18	2	1	-	3
9月	18	13	-	-	-	-	5	13	2	-	1	10	357	4	-	-	2
10月	18	11	-	2	-	-	5	23	7	-	4	12	588	43	-	-	6
11月	22	15	-	1	-	-	6	17	2	-	4	11	511	48	-	-	2
12月	21	16	-	-	-	-	5	30	5	3	9	13	1,067	204	-	2	4
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	229	145	5	16	-	-	63	188	22	8	45	113	3,727	596	11	5	51
日曜	36	24	1	1	-	-	10	28	4	-	6	18	724	40	1	-	6
月曜	26	16	-	4	-	-	6	17	-	3	3	11	249	7	-	-	5
火曜	26	18	-	2	-	-	6	31	7	1	7	16	878	77	-	1	5
水曜	39	24	1	2	-	-	12	36	5	-	14	17	792	100	1	-	7
木曜	30	21	-	2	-	-	7	25	2	1	6	16	375	100	-	1	12
金曜	33	18	2	3	-	-	10	23	2	1	7	13	497	251	8	3	15
土曜	38	23	1	2	-	-	12	27	2	2	2	21	212	21	1	-	1
不明	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員（人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	150	20	7	123	313	270,035	258,382	-	5,867	-	-	2,546	3,240
1月	15	3	1	11	32	30,140	29,415	-	679	-	-	46	-
2月	9	1	-	8	15	29,559	29,519	-	-	-	-	40	-
3月	8	1	-	7	28	17,553	14,160	-	120	-	-	33	3,240
4月	27	3	1	23	64	44,196	43,552	-	607	-	-	37	-
5月	22	2	-	20	41	5,161	5,018	-	124	-	-	19	-
6月	9	1	-	8	20	2,966	2,156	-	8	-	-	802	-
7月	3	-	-	3	9	4,441	1,139	-	2,111	-	-	1,191	-
8月	7	-	1	6	10	787	399	-	387	-	-	1	-
9月	7	1	-	6	8	18,290	18,286	-	-	-	-	4	-
10月	12	3	-	9	28	37,007	36,335	-	504	-	-	168	-
11月	10	2	2	6	14	29,945	28,638	-	1,294	-	-	13	-
12月	21	3	2	16	44	49,990	49,765	-	33	-	-	192	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	150	20	7	123	313	270,035	258,382	-	5,867	-	-	2,546	3,240
日曜	25	3	-	22	43	33,332	33,198	-	6	-	-	128	-
月曜	14	1	2	11	31	12,613	11,912	-	676	-	-	25	-
火曜	24	4	1	19	48	48,959	48,253	-	567	-	-	139	-
水曜	22	4	3	15	46	69,004	65,515	-	1,404	-	-	2,085	-
木曜	21	2	1	18	51	29,908	23,747	-	2,838	-	-	83	3,240
金曜	30	5	-	25	69	61,278	61,127	-	127	-	-	24	-
土曜	14	1	-	13	25	14,941	14,630	-	249	-	-	62	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第4表 時間別火災概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	229	145	5	16	-	-	63	188	22	8	45	113	3,727	596	11	5	51
0-1時	4	3	-	-	-	-	1	17	5	-	4	8	453	71	-	-	6
1-2時	5	4	-	-	-	-	1	5	1	-	2	2	290	15	-	-	6
2-3時	4	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	2	-	-	-	-	2
3-4時	5	3	-	-	-	-	2	4	-	1	-	3	100	1	-	1	4
4-5時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-6時	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	1	2	2	-	-	-	1
6-7時	5	4	-	-	-	-	1	4	1	-	2	1	253	15	-	-	1
7-8時	6	5	-	-	-	-	1	5	-	-	1	4	5	12	-	-	-
8-9時	8	7	-	-	-	-	1	6	-	1	1	4	134	1	-	-	4
9-10時	8	4	-	-	-	-	4	5	-	-	-	5	-	-	-	-	2
10-11時	12	4	1	3	-	-	4	5	1	-	1	3	5	2	1	-	1
11-12時	11	9	-	-	-	-	2	9	1	-	4	4	189	24	-	-	1
12-13時	16	8	1	4	-	-	3	9	-	1	3	5	129	96	3	1	5
13-14時	17	12	1	-	-	-	4	17	4	-	5	8	461	30	5	-	2
14-15時	19	11	-	-	-	-	8	20	3	2	6	9	820	61	-	-	5
15-16時	18	10	-	-	-	-	8	11	1	1	1	8	45	2	-	-	-
16-17時	10	6	1	2	-	-	1	6	-	-	2	4	2	2	1	-	2
17-18時	25	15	1	2	-	-	7	16	2	-	2	12	139	43	1	-	1
18-19時	8	3	-	2	-	-	3	3	-	-	1	2	30	12	-	-	1
19-20時	9	7	-	1	-	-	1	10	1	2	3	4	163	35	-	1	2
20-21時	9	9	-	-	-	-	-	9	-	-	-	9	-	-	-	-	1
21-22時	5	3	-	-	-	-	2	3	-	-	-	3	-	2	-	-	-
22-23時	9	5	-	-	-	-	4	7	1	-	-	6	331	2	-	-	-
23-0時	8	5	-	2	-	-	1	9	1	-	5	3	157	166	-	1	3
不明	5	3	-	-	-	-	2	3	-	-	1	2	19	4	-	1	1

第5表 時間別火災概況 2/2

区分	り災世帯数				り災人員	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	150	20	7	123	313	270,035	258,382	-	5,867	-	-	2,546	3,240
0-1時	17	3	-	14	45	36,536	36,356	-	11	-	-	169	-
1-2時	3	1	1	1	8	13,189	13,037	-	120	-	-	32	-
2-3時	2	-	-	2	3	7	3	-	-	-	-	4	-
3-4時	4	1	-	3	13	24,195	24,192	-	-	-	-	3	-
4-5時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-6時	3	-	-	3	9	225	225	-	-	-	-	-	-
6-7時	4	1	1	2	5	7,178	7,178	-	-	-	-	-	-
7-8時	5	-	1	4	8	293	293	-	-	-	-	-	-
8-9時	4	-	1	3	7	21,684	18,444	-	-	-	-	-	3,240
9-10時	3	-	-	3	6	69	56	-	-	-	-	13	-
10-11時	4	1	-	3	6	563	73	-	490	-	-	-	-
11-12時	5	1	2	2	11	15,222	15,222	-	-	-	-	-	-
12-13時	16	2	-	14	32	21,678	18,311	-	3,356	-	-	11	-
13-14時	11	3	-	8	29	27,209	25,926	-	72	-	-	1,211	-
14-15時	21	3	-	18	40	40,397	40,230	-	-	-	-	167	-
15-16時	4	-	-	4	9	783	773	-	-	-	-	10	-
16-17時	3	-	-	3	4	2,416	2,052	-	342	-	-	22	-
17-18時	12	1	-	11	23	8,097	7,226	-	71	-	-	800	-
18-19時	1	-	-	1	3	1,547	1,130	-	417	-	-	-	-
19-20時	7	1	1	5	11	24,605	24,484	-	83	-	-	38	-
20-21時	6	-	-	6	13	1,205	1,205	-	-	-	-	-	-
21-22時	2	-	-	2	5	7	6	-	-	-	-	1	-
22-23時	4	1	-	3	5	9,256	9,148	-	79	-	-	29	-
23-0時	7	1	-	6	14	11,030	10,172	-	826	-	-	32	-
不明	2	-	-	2	4	2,644	2,640	-	-	-	-	4	-

第6表 出火原因別火災概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	229	145	5	16	-	-	63	188	22	8	45	113	3,727	596	11	5	51
たばこ	38	24	1	1	-	-	12	27	-	2	7	18	116	44	3	-	4
こんろ	30	30	-	-	-	-	-	30	-	1	2	27	33	18	-	-	6
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	4	3	1	-	-	-	-	3	-	-	2	1	-	28	1	-	-
ストーブ	5	5	-	-	-	-	-	11	1	-	3	7	110	20	-	-	1
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	1	1	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2	331	-	-	-	-
排気管	5	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
電気機器	8	5	-	3	-	-	-	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-
電気装置	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	9	7	-	-	-	-	2	8	-	2	2	4	236	5	-	-	2
内燃機関	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	8	8	-	-	-	-	-	24	8	-	8	8	1,155	71	-	-	5
火あそび	5	2	-	-	-	-	3	2	-	-	1	1	-	2	-	-	-
マッチ・ライター	2	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
たき火	22	4	3	-	-	-	15	6	2	1	1	2	202	17	7	-	4
溶接機・切断機	4	1	-	-	-	-	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
灯火	4	4	-	-	-	-	-	5	-	1	1	3	102	1	-	-	4
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	3	2	-	-	-	-	1	3	1	-	1	1	187	2	-	-	-
火入れ	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	26	14	-	1	-	-	11	17	1	-	5	11	100	63	-	2	7
放火の疑い	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	30	20	-	2	-	-	8	21	4	-	4	13	449	24	-	-	7
不明・調査中	17	13	-	3	-	-	1	20	4	1	8	7	706	301	-	3	11

第7表 出火原因別火災概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	150	20	7	123	313	270,035	258,382	-	5,867	-	-	2,546	3,240
たばこ	21	-	2	19	44	26,350	25,493	-	-	-	-	857	-
こんろ	23	1	-	22	44	1,484	1,484	-	-	-	-	-	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	1	-	-	1	5	18	18	-	-	-	-	-	-
ストーブ	9	1	-	8	21	6,401	6,356	-	-	-	-	45	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	1	1	-	-	2	9,201	9,111	-	79	-	-	11	-
排気管	-	-	-	-	-	1,241	112	-	1,129	-	-	-	-
電気機器	-	-	-	-	-	4,276	4,233	-	43	-	-	-	-
電気装置	-	-	-	-	-	6	-	-	6	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	6	1	1	4	16	11,786	11,783	-	-	-	-	3	-
内燃機関	-	-	-	-	-	48	-	-	48	-	-	-	-
配線器具	17	4	1	12	40	74,148	73,804	-	120	-	-	224	-
火あそび	-	-	-	-	-	17	14	-	-	-	-	3	-
マッチ・ライター	1	-	-	1	2	4	-	-	-	-	-	4	-
たき火	3	1	-	2	5	7,960	7,899	-	47	-	-	14	-
溶接機・切断機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	5	1	-	4	13	24,268	24,268	-	-	-	-	-	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	2	1	-	1	3	5,939	5,883	-	-	-	-	56	-
火入れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	21	2	1	18	34	12,089	11,948	-	91	-	-	50	-
放火の疑い	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
その他	9	1	1	7	14	32,218	27,266	-	501	-	-	1,211	3,240
不明・調査中	31	6	1	24	70	52,580	48,710	-	3,803	-	-	67	-

第8表 出火原因別・月別火災発生件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	229	15	16	26	32	19	15	10	17	18	18	22	21	-
たばこ	38	1	4	5	8	5	2	-	1	2	-	7	3	-
こんろ	30	3	1	1	3	3	4	-	2	3	3	3	4	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	4	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-
ストーブ	5	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
排気管	5	1	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
電気機器	8	2	-	-	-	1	3	-	-	2	-	-	-	-
電気装置	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	9	1	3	1	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-
内燃機関	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	8	2	-	-	1	1	-	-	-	-	1	2	1	-
火あそび	5	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-
マッチ・ライター	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
たき火	22	-	3	4	7	-	-	1	1	2	2	-	2	-
溶接機・切断機	4	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
灯火	4	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
火入れ	4	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-
放火	26	3	1	4	2	3	-	2	2	3	5	1	-	-
放火の疑い	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	30	-	1	6	1	-	2	1	6	4	4	4	1	-
不明・調査中	17	2	-	3	2	2	1	1	1	1	1	1	2	-

第9表 出火原因別・月別火災発生件数

区分	総計	0-1時	1-2時	2-3時	3-4時	4-5時	5-6時	6-7時	7-8時	8-9時	9-10時	10-11時	11-12時	12-13時	13-14時	14-15時	15-16時	16-17時	17-18時	18-19時	19-20時	20-21時	21-22時	22-23時	23-24時	不明
総計	229	4	5	4	5	-	3	5	6	8	8	12	11	16	17	19	18	10	25	8	9	9	5	9	8	5
たばこ	38	-	1	-	-	-	-	1	3	2	1	2	-	2	5	5	3	1	5	1	1	-	1	3	1	-
こんろ	30	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	1	3	5	-	1	3	-	2	7	-	1	1	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	5	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
排気管	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-
電気機器	8	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-
電気装置	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	9	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	1	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
内燃機関	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
配線器具	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
火あそび	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-
マッチ・ライター	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
たき火	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3	3	1	2	2	4	2	1	-	-	-	-	-
溶接機・切断機	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
火入れ	4	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	26	1	2	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	3	2	-	1	3	2	2
放火の疑い	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
その他	30	-	-	1	-	-	-	2	-	2	1	2	4	3	2	2	3	2	2	-	1	-	2	-	1	-
不明・調査中	17	1	1	-	-	-	2	1	-	-	1	1	1	3	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	2	1

第10表 風速・湿度別火災概況 1/2

風速 (m/s)	湿度 (%)	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野面積 (a)	死者	負傷者
総計		229	145	-	5	16	-	63	188	22	8	45	113	3,727	596	11	5	51
0-3未満	35未満	14	4	-	1	-	-	9	5	-	1	-	4	33	11	-	-	1
	35~54	68	40	3	4	-	-	21	49	5	5	14	25	1,160	163	5	3	12
	55~74	74	54	2	7	-	-	11	75	9	1	19	46	1,612	294	6	1	18
	75以上	45	30	-	2	-	-	13	34	2	1	6	25	221	75	-	1	11
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3-6未満	35未満	7	2	-	-	-	-	5	2	-	-	1	1	5	-	-	-	1
	35~54	14	10	-	2	-	-	2	17	5	-	3	9	414	34	-	-	3
	55~74	2	2	-	-	-	-	-	3	1	-	1	1	282	15	-	-	5
	75以上	3	2	-	-	-	-	1	2	-	-	1	1	-	4	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-9未満	35未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9以上	35未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	35未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-

第 1 1 表 風速・湿度別火災概況 2/2

風速 (M/s)	湿度 (%)	り災世帯数 (世帯)				り災人員 (人)	損害額 (千円)							
		計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計		150	20	7	123	313	270,035	258,382	-	5,867	-	-	2,546	3,240
0-3 未満	35 未満	4	-	-	4	12	1,133	794	-	307	-	-	32	-
	35~54	38	5	2	31	77	81,076	79,185	-	1,773	-	-	118	-
	55~74	61	8	3	50	117	116,707	112,215	-	3,442	-	-	1,050	-
	75 以上	32	3	2	27	57	37,746	34,364	-	62	-	-	80	3,240
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3-6 未満	35 未満	1	-	-	1	4	45	44	-	-	-	-	1	-
	35~54	10	3	-	7	30	18,448	18,240	-	163	-	-	45	-
	55~74	2	1	-	1	10	13,052	12,900	-	120	-	-	32	-
	75 以上	1	-	-	1	5	1,826	638	-	-	-	-	1,188	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-9 未満	35 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 以上	35 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	35 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	1	-	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-

第12表 火元建物用途別概況 1/2

区分	出火件数（件）							焼損棟数（棟）					焼損面積			死傷者（人）	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	145	145	-	-	-	-	-	186	22	8	45	111	3,727	596	-	4	46
住宅火災	住宅	45	45	-	-	-	-	83	16	4	27	36	2,961	382	-	3	24
	併用住宅	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	128	1	-	-	1
	共同住宅	45	45	-	-	-	-	45	-	-	10	35	171	139	-	1	12
住宅火災 計	91	91	-	-	-	-	-	129	17	4	37	71	3,260	522	-	4	37
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	4	-	-	-	-
物品販売店舗	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	1
社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	8	8	-	-	-	-	-	7	-	-	1	6	29	-	-	-	3
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	5	5	-	-	-	-	-	8	3	1	1	3	69	25	-	-	-
事務所	4	4	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	3	-	-	-	-
複合用途（特定）	17	17	-	-	-	-	-	17	-	1	2	14	86	22	-	-	3
複合用途（非特定）	10	10	-	-	-	-	-	10	-	1	1	8	86	4	-	-	1
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	4	-	-	-	-	-	5	2	-	2	1	194	19	-	-	1

第13表 火元建物用途別概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）								
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
総計	149	20	7	122	310	262,450	258,381	-	407	-	-	422	3,240	
住宅火災	住宅	70	13	2	55	176	186,942	186,177	-	360	-	-	405	-
	併用住宅	1	1	-	-	3	4,542	4,542	-	-	-	-	-	-
	共同住宅	61	4	3	54	103	27,587	27,587	-	-	-	-	-	-
住宅火災 計	132	18	5	109	282	219,071	218,306	-	360	-	-	405	-	
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	-	-	-	-	-	565	565	-	-	-	-	-	-	-
物品販売店舗	-	-	-	-	-	114	114	-	-	-	-	-	-	-
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	-	-	-	-	-	408	408	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	-	-	-	-	-	11,654	8,414	-	-	-	-	-	3,240	
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
駐車場	-	-	-	-	-	16	16	-	-	-	-	-	-	
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
倉庫	1	-	-	1	2	870	813	-	47	-	-	10	-	
事務所	-	-	-	-	-	118	118	-	-	-	-	-	-	
複合用途（特定）	7	-	1	6	9	15,496	15,496	-	-	-	-	-	-	
複合用途（非特定）	6	1	1	4	10	6,240	6,239	-	-	-	-	1	-	
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	3	1	-	2	7	7,898	7,892	-	-	-	-	6	-	

第14表 建物分類別・月別火災発生件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明	
総計	229	15	16	26	32	19	15	10	17	18	18	22	21	-	
建物火災 計	145	12	9	15	17	11	11	4	11	13	11	15	16	-	
住宅火災	住宅	45	4	5	4	6	5	4	1	2	4	1	4	5	-
	併用住宅	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	共同住宅	45	3	2	6	4	5	3	1	6	3	2	4	6	-
住宅火災 計	91	8	7	10	10	10	7	2	8	7	3	8	11	-	
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
飲食	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
物品販売店舗	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
病院	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
工場	8	2	-	1	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
駐車場	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
倉庫	5	-	-	1	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	
事務所	4	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	
複合用途(特定)	17	-	1	1	3	-	1	-	1	2	3	3	2	-	
複合用途(非特定)	10	-	1	1	2	-	3	-	-	2	-	-	1	-	
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	4	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	1	-	
林野火災	5	-	1	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
車両火災 計	16	2	1	-	3	3	1	1	2	-	2	1	-	-	
自動車	16	2	1	-	3	3	1	1	2	-	2	1	-	-	
鉄道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
船舶火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
航空機火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の火災	63	1	5	11	10	4	3	5	3	5	5	6	5	-	

第15表 管轄署所別火災発生状況

管轄署所		火災件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
中消防署	中消防署	14	-	1
	白島出張所	5	1	2
	基町出張所	6	-	1
	江波出張所	9	-	2
中消防署 計		34	1	6
東消防署	東消防署	6	-	-
	福田出張所	1	-	-
	温品出張所	3	-	-
	戸坂出張所	3	-	-
東消防署 計		13	-	-
南消防署	南消防署	9	1	6
	水上出張所	3	-	-
	青崎出張所	3	-	1
	東本浦出張所	1	-	-
	日宇那出張所	4	1	1
	宇品出張所	1	-	-
南消防署 計		21	2	8
西消防署	西消防署	9	-	4
	三篠出張所	9	-	2
	己斐出張所	1	-	-
	庚午出張所	7	-	1
	井口出張所	5	-	-
西消防署 計		31	-	7
安佐南消防署	安佐南消防署	9	-	5
	上安出張所	7	-	-
	祇園出張所	9	-	2
	沼田出張所	10	-	1
安佐南消防署 計		35	-	8
安佐北消防署	安佐北消防署	9	-	1
	白木出張所	6	-	1
	高陽出張所	10	1	-
	可部出張所	7	-	-
	安佐出張所	11	-	1
	安芸太田出張所	3	-	5
安佐北消防署 計		46	1	8
安芸消防署	安芸消防署	7	1	1
	瀬野川出張所	5	-	4
	矢野出張所	5	-	3
	熊野出張所	7	-	2
	坂出張所	1	-	-
安芸消防署 計		25	1	10
佐伯消防署	佐伯消防署	9	-	-
	湯来出張所	4	-	1
	石内出張所	3	-	-
	八幡出張所	5	-	3
	海老園出張所	3	-	-
佐伯消防署 計		24	-	4
総計		229	5	51

付属資料 昭和23年以降の火災発生状況

年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡			林野a	死者		傷者	世帯		
昭和23年	99	97	2	0	0	0	17,929	…	…	170,074 (…)	11.6	…	29	…	…	…	61,361 (246,134)	昭和23年1月1日からの統計
昭和24年	114	110	2	1	1	0	23,219	…	…	292,947 (89,645)	15.3	…	93	…	…	…	67,549 (270,863)	
昭和25年	166	126	6	3	0	31	20,006	…	…	132,364 (25,039)	14.2	2	50	…	…	…	73,006 (288,003)	
昭和26年	144	133	1	5	3	2	24,651	…	…	179,421 (177,282)	16.6	1	39	…	…	…	76,531 (302,372)	
昭和27年	105	75	3	6	1	20	9,064	…	139	102,576 (101,463)	17.4	1	31	…	…	…	78,531 (321,973)	
昭和28年	182	135	3	17	2	25	13,441	…	404	98,963 (97,900)	18.6	…	…	…	…	…	86,215 (345,219)	
昭和29年	282	236	3	18	1	24	4,278	…	30	51,833 (50,697)	19.8	…	…	…	…	…	91,924 (361,367)	
昭和30年	330	262	17	30	0	21	16,025	…	644	125,056 (124,692)	19.5	…	…	…	…	…	96,897 (374,793)	4.1戸坂村編入
昭和31年	366	302	7	28	3	26	13,754	…	44	169,251 (167,201)	19.6	0	32	…	…	…	101,255 (388,347)	4.1中山村編入 11.1井口村編入
昭和32年	352	289	19	15	3	26	10,666	…	1,234	133,715 (130,230)	20.2	1	29	…	…	…	107,102 (403,402)	
昭和33年	367	304	17	24	1	21	7,106	…	86	68,599 (67,674)	20.1	4	36	…	…	…	113,580 (419,573)	
昭和34年	308	236	20	33	2	17	6,721	…	92	82,140 (81,455)	20.3	4	32	299	279	…	119,636 (433,528)	
昭和35年	351	274	21	27	5	24	10,243	…	743	101,247 (100,380)	21.1	7	43	367	359	1,314	125,080 (445,727)	
昭和36年	306	242	15	29	3	17	11,776	…	650	108,918 (107,908)	22.2	3	19	379	301	1,059	131,961 (462,703)	
昭和37年	306	229	24	42	5	6	10,946	…	301	158,330 (156,165)	23.7	3	18	323	221	826	139,840 (480,576)	
昭和38年	317	225	25	48	5	14	10,231	…	309	129,580 (126,555)	25.6	4	26	409	298	994	147,079 (494,079)	
昭和39年	333	244	24	40	4	21	11,060	…	158	198,666 (197,003)	26.5	3	30	330	223	745	155,944 (511,611)	
昭和40年	337	234	42	39	5	17	14,670	…	3,532	254,060 (251,748)	28.3	14	55	520	296	982	163,039 (524,558)	
昭和41年	277	205	17	39	3	13	17,546	…	116	310,812 (309,283)	29.8	2	57	402	256	820	169,188 (532,676)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は安芸区を除いたもので、消防年報による。(3)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。(4)…は不詳を表す。

年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a			死者	傷者		世帯	人員		
昭和42年	350	232	45	45	4	24	12,417	…	10,088	200,117 (195,741)	30.9	9	63	440	404	1,154	175,985 (543,079)		
昭和43年	314	236	26	33	3	16	8,640	…	260	164,482 (163,255)	32.6	9	40	373	192	617	183,835 (551,259)		
昭和44年	308	225	17	39	4	0	23	7,283	…	1,086	279,731 (264,302)	34.3	2	37	326	200	646	188,006 (556,791)	
昭和45年	324	218	47	33	0	0	26	10,245	…	3,973	274,432 (266,154)	36.9	5	31	403	421	1,213	191,393 (558,014)	
昭和46年	344	246	23	35	4	0	36	9,671	…	51	374,665 (367,597)	39.3	5	32	356	405	1,140	201,409 (574,924)	4.1沼田町編入 5.20安佐町編入
昭和47年	317	232	27	17	3	0	38	7,419	…	114	283,432 (272,335)	41.2	3	53	321	311	976	240,841 (672,845)	4.1可部町編入 8.27祇園町編入
昭和48年	372	241	37	25	0	0	69	10,055	…	7,037	352,123 (348,176)	46.0	6	39	322	275	849	268,723 (740,340)	3.20安古市町・高陽町・佐東町・瀬 野川町編入 10.22白木町編入
昭和49年	428	260	42	26	1	0	99	6,546	…	3,036	339,179 (332,374)	56.7	11	60	315	269	801	281,032 (772,226)	11.1熊野跡村・安芸町編入
昭和50年	409	262	29	21	1	0	96	11,676	…	3,620	670,199 (651,402)	63.3	13	33	353	322	988	285,864 (783,497)	3.20矢野町・船越町編入
昭和51年	394	254	22	23	2	0	93	11,220	…	407	1,201,501 (1,176,121)	69.3	7	68	362	373	1,032	288,003 (791,637)	
昭和52年	505	286	46	28	2	0	143	6,633	…	1,547	923,628 (912,894)	74.9	12	59	397	290	870	290,984 (800,227)	
昭和53年	584	304	54	21	4	0	201	8,948	…	2,339	681,287 (607,118)	78.1	14	68	440	363	1,115	294,038 (807,008)	
昭和54年	539	305	42	44	1	0	147	10,441	…	643	831,359 (814,933)	81.0	12	62	491	379	1,073	297,943 (815,556)	
昭和55年	484	281	25	46	2	0	130	6,160	…	128	540,544 (532,599)	87.3	13	56	393	347	980	304,209 (826,919)	4.1区政施行
昭和56年	463	270	34	27	0	0	132	5,646	…	52	544,767 (532,442)	91.5	12	49	354	286	756	309,500 (837,636)	
昭和57年	522	258	60	42	7	0	155	4,984	…	224	501,261 (494,133)	94.1	13	55	339	282	753	313,607 (845,470)	
昭和58年	445	260	24	39	1	0	121	8,844	…	162	799,768 (773,134)	95.8	10	52	400	319	854	318,699 (854,200)	
昭和59年	467	271	19	32	2	0	143	6,701	…	326	526,562 (520,179)	98.0	6	63	390	323	863	323,576 (863,000)	
昭和60年	473	292	42	32	0	0	107	9,508	…	319	1,117,544 (1,109,240)	100.0	10	65	455	386	1,112	360,891 (969,969)	3.20五日市町編入(佐伯区となる)

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の安芸区分を除いたもので、各年の消防年報による。

(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災を其他火災から分離。(4)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。

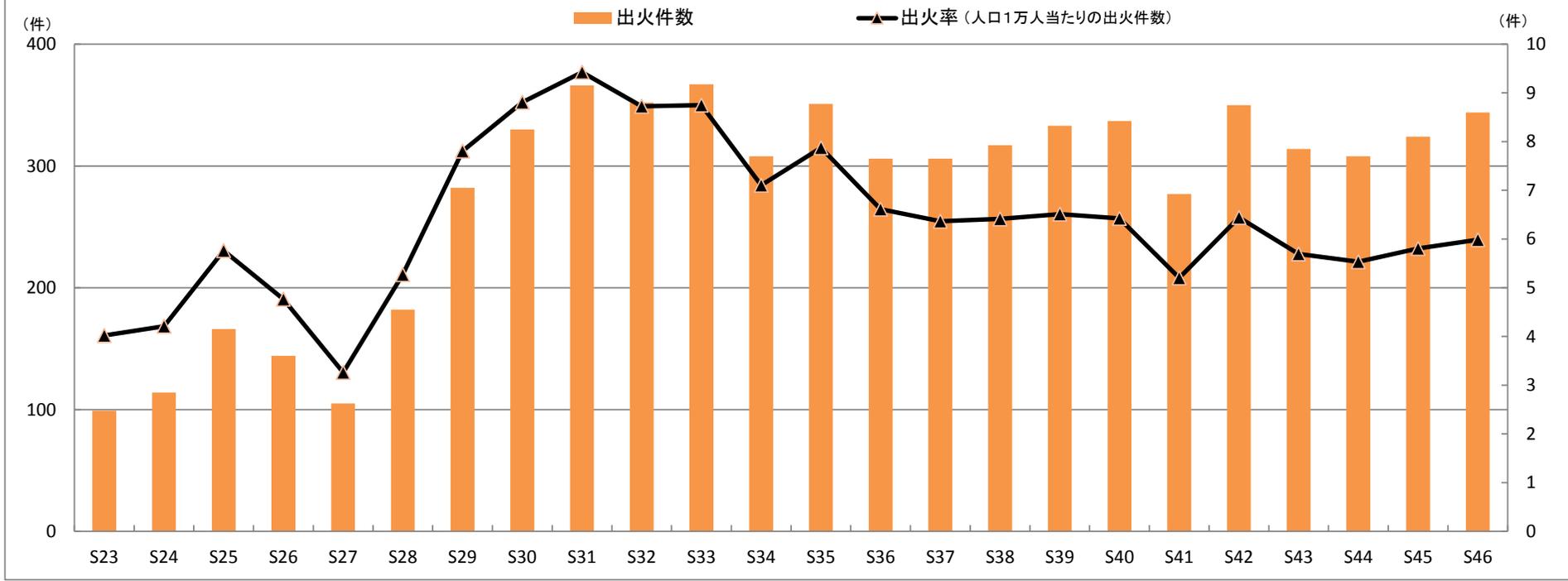
年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考	
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡			林野a	死者		傷者	世帯			人員
				自動車	鉄道															
昭和61年	595	349	40	48	1	4	0	157	7,888		2,416	646,871 (589,162)	100.6	23	61	490	369	1,095	367,079 (980,640)	
昭和62年	532	323	32	37	0	3	0	140	6,163		234	529,768 (523,034)	100.7	17	55	449	345	972	372,653 (989,790)	
昭和63年	587	336	34	54	0	4	0	163	10,571		106	1,173,725 (1,159,445)	101.4	13	68	479	391	1,048	378,173 (997,212)	
平成元年	556	316	39	49	2	0	0	150	5,282		145	631,862 (554,749)	103.7	12	57	435	326	890	383,998 (1,003,896)	
平成2年	610	323	22	80	...	3	0	182	5,483	...	157	720,430 (684,499)	106.9	15	71	453	371	1,026	390,290 (1,010,438)	
平成3年	593	327	32	71	...	2	0	161	7,130	...	1,030	947,503 (920,172)	95.1	9	65	463	335	900	390,645 (1,001,851)	
平成4年	539	305	25	54	...	5	0	150	5,232	...	181	913,479 (849,311)	96.7	6	35	416	252	745	395,225 (1,010,462)	
平成5年	528	313	27	51	...	2	0	135	4,853	...	279	623,084 (590,237)	98.0	6	65	445	346	891	407,762 (1,024,280)	
平成6年	638	302	49	49	...	2	0	236	5,846	...	819	928,275 (859,004)	98.6	15	90	431	373	975	405,381 (1,018,728)	
平成7年	562	299	32	64	0	2	0	165	6,721	1,786	126	854,102 (824,496)	98.5	8	46	368	250	666	410,464 (1,022,755)	
平成8年	557	316	20	52	0	2	0	167	4,114	2,334	31	709,429 (682,033)	98.6	10	79	383	359	903	422,282 (1,035,527)	
平成9年	579	332	22	61	0	1	0	163	5,756	1,312	59	770,261 (747,335)	100.4	16	70	409	292	752	421,506 (1,027,012)	
平成10年	509	306	17	55	0	1	0	130	4,769	1,975	41	542,545 (502,450)	101.0	9	67	369	257	650	432,484 (1,044,795)	
平成11年	571	337	19	67	1	0	0	147	5,500	1,478	126	651,063 (261,088)	100.7	17	63	423	326	841	437,070 (1,047,868)	
平成12年	516	300	27	62	0	0	0	125	5,860	2,363	25	687,153 (645,238)	100.0	8	78	384	295	742	441,339 (1,051,817)	
平成13年	600	334	22	71	0	3	0	170	11,956	4,188	59	1,663,184 (1,641,657)	99.1	15	65	467	347	891	437,070 (1,047,868)	
平成14年	575	320	29	65	0	1	0	160	3,945	2,130	98	455,921 (438,184)	98.5	9	90	401	277	646	450,849 (1,060,049)	
平成15年	444	275	15	46	0	0	0	108	4,377	2,395	76	719,393 (707,944)	98.1	15	71	361	276	645	455,586 (1,063,810)	
平成16年	434	239	23	55	0	1	0	116	12,288	8,719	64	4,092,925 (4,078,224)	97.8	8	70	301	280	586	442,070 (1,069,118)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の住民基本台帳登録人口及び外国人登録人口で安芸区及び佐伯区のうち湯来地区を除いたもの。(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。(4)平成17年以降の物価指数は消費者物価指数(全国値)で平成17年を100としたもの。(5年ごとに基準みなおし)

年 別	出 火 件 数								焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a		死者	傷者		世帯	人員		
				自動車	鉄道														
平成17年	474	275	9	68	0	2	0	120	5,472	1,890	52	547,285 (525,461)	19	83	397	305	736	466,611 (1,072,712)	
平成18年	452	296	2	42	0	0	0	112	7,125	2,253	722	1,010,625 (1,001,037)	19	90	379	348	824	472,693 (1,075,804)	
平成19年	543	325	15	47	0	1	0	155	8,451	5,029	33	817,571 (789,498)	14	84	446	356	805	550,495 (1,246,047)	平成19年4月から広島市佐伯区湯来町、広島市安芸区、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市吉和地区が管轄区域となる。
平成20年	548	323	22	40	0	0	0	163	5,654	2,947	293	1,015,807 (993,060)	16	96	410	307	774	550,981 (1,247,084)	
平成21年	506	260	16	46	0	1	0	183	8,326	2,389	28	814,173 (771,691)	13	65	358	331	686	551,333 (1,244,640)	
平成22年	514	249	21	55	0	0	0	189	5,545	1,280	31	600,332 (543,983)	12	62	318	260	572	559,472 (1,251,557)	
平成23年	479	260	23	33	0	0	0	163	5,804	1,372	61	516,273 (510,522)	11	55	340	271	601	559,531 (1,251,368)	
平成24年	395	215	16	40	0	2	0	122	3,953	1,057	17	493,964 (468,962)	12	60	279	243	537	563,671 (1,253,733)	
平成25年	420	249	12	37	0	0	0	122	7,311	876	37	789,831 (777,333)	9	50	325	218	461	567,736 (1,257,629)	
平成26年	378	229	8	37	1	1	0	102	5,700	991	86	635,924 (614,265)	30	65	319	256	551	573,267 (1,260,790)	
平成27年	305	198	5	19	0	0	0	83	5,188	1,747	9	448,839 (440,703)	20	64	242	195	411	577,756 (1,262,631)	
平成28年	299	187	5	33	0	1	0	73	3,358	570	45	490,488 (211,058)	5	54	229	153	350	583,775 (1,265,234)	
平成29年	316	204	4	20	0	0	0	88	4,082	1,060	14	474,180 (284,469)	8	60	277	219	462	588,982 (1,267,410)	
平成30年	260	161	6	20	0	1	0	72	4,068	1,239	399	539,614 (206,780)	10	49	225	217	438	593,572 (1,267,935)	
令和元年	277	168	3	25	0	0	0	81	3,690	1,031	56	361,434 (352,052)	9	40	233	172	360	598,909 (1,268,332)	
令和2年	229	145	5	16	0	0	0	63	3,727	596	11	270,035 (258,382)	5	51	188	150	313	603,992 (1,267,846)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。

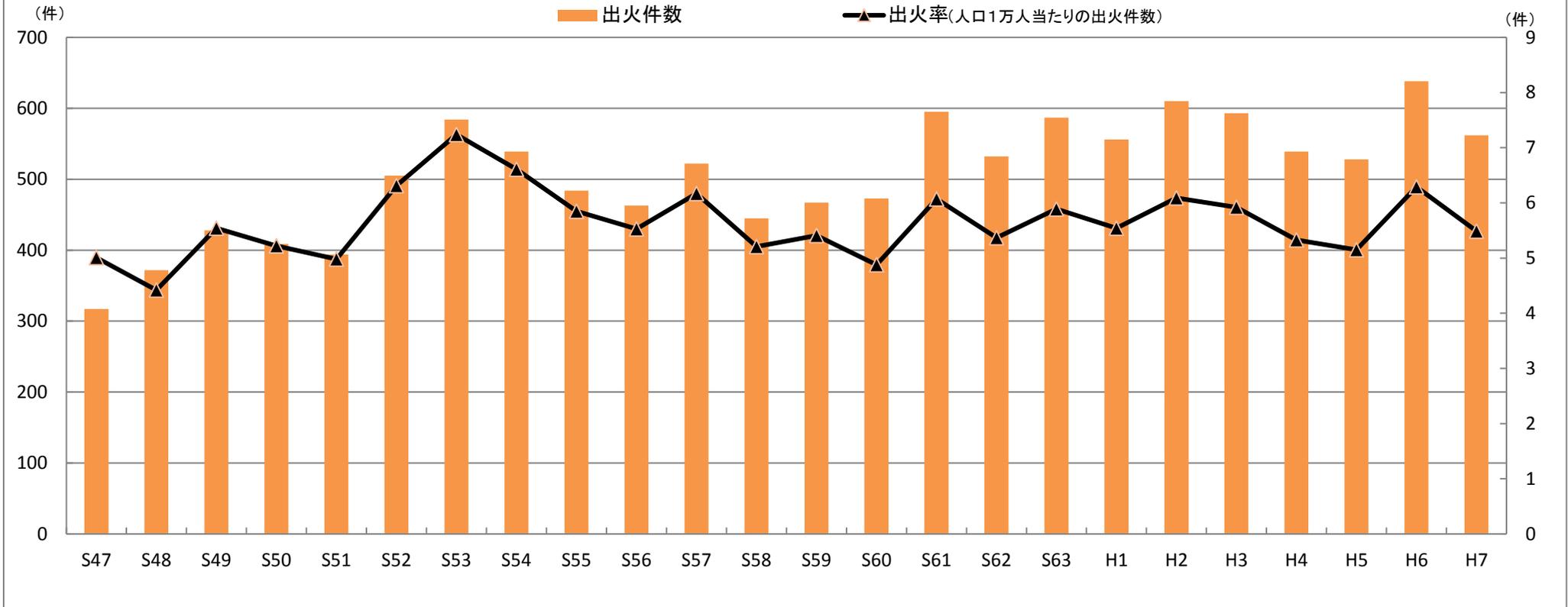
火災の推移状況



	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46
出火件数	99	114	166	144	105	182	282	330	366	352	367	308	351	306	306	317	333	337	277	350	314	308	324	344
人口	246,134	270,863	288,003	302,372	321,973	345,219	361,367	374,793	388,347	403,402	419,573	433,528	445,727	462,703	480,576	494,079	511,611	524,558	532,676	543,079	551,259	556,791	558,014	574,924
出火率	4.02	4.21	5.76	4.76	3.26	5.27	7.80	8.80	9.42	8.73	8.75	7.10	7.87	6.61	6.37	6.42	6.51	6.42	5.20	6.44	5.70	5.53	5.81	5.98

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。

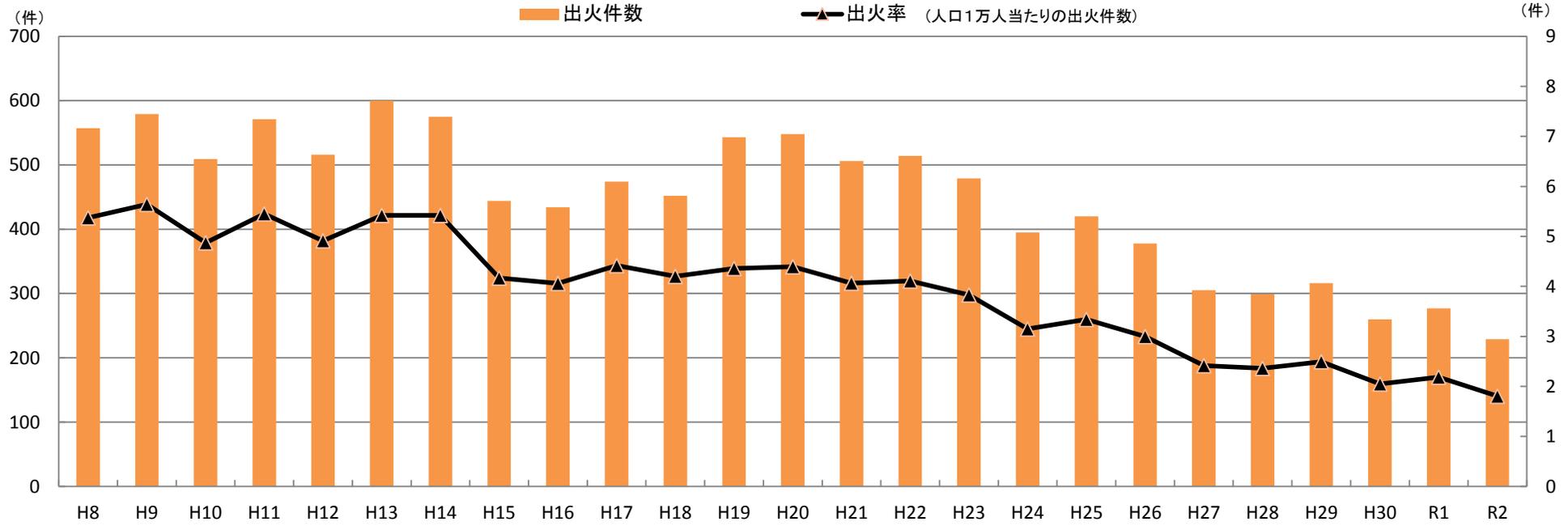
火災の推移状況



	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
出火件数	317	372	428	409	394	505	584	539	484	463	522	445	467	473	595	532	587	556	610	593	539	528	638	562
人口	672,845	740,340	772,226	783,497	791,637	800,227	807,008	815,556	826,919	837,636	845,470	845,200	863,000	969,969	980,640	989,790	997,212	1,003,896	1,010,438	1,001,850	1,010,462	1,024,280	1,018,728	1,022,750
出火率	5.01	4.42	5.54	5.22	4.98	6.31	7.24	6.61	5.85	5.53	6.17	5.21	5.41	4.88	6.07	5.37	5.89	5.54	6.09	5.92	5.33	5.15	6.29	5.49

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。

火災の推移状況



	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
出火件数	557	579	509	571	516	600	575	444	434	474	452	543	548	506	514	479	395	420	378	305	299	316	260	277	229
人口	1,035,527	1,027,012	1,044,795	1,047,868	1,051,817	1,047,868	1,060,049	1,063,810	1,069,118	1,072,712	1,075,804	1,246,047	1,247,084	1,244,640	1,251,557	1,251,368	1,253,733	1,257,629	1,260,790	1,262,631	1,265,234	1,267,410	1,267,935	1,268,332	1,267,846
出火率	5.37	5.64	4.87	5.45	4.91	5.42	5.42	4.17	4.06	4.42	4.20	4.36	4.39	4.07	4.11	3.83	3.15	3.34	3.00	2.42	2.36	2.49	2.05	2.18	1.81

平成19年以降は、安芸区、佐伯区湯来町、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市市吉和を含む。

令和2年(2020年) 広島市消防局火災統計

広島市消防局予防課調査係

〒730-0051

広島市中区大手町五丁目20番12号

TEL (082) 546-3453 内線 71-415・416・417

FAX (082) 249-1160